

産業保健調査研究報告書

和歌山県における高年齢労働者に配慮した 職場改善のための実態調査の結果報告書

令和4年3月（研究実施年度末）

労働者健康安全機構

和歌山産業保健総合支援センター

まえがき

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」（高年齢者雇用安定法）の改正により再雇用者が増え、職場には高年齢労働者が多くなりました。そのため高年齢労働者に配慮した職場改善が重要になってきました。和歌山産業保健総合支援センターでは、2013年に「和歌山県における高年齢労働者に配慮した職場改善に関する調査研究」を行い、高年齢労働者に配慮した職場改善を支援してきました。調査研究から8年が経ち、職場改善の状況を把握し、支援の方向性や内容を再度検討する時期になりました。

そこで、和歌山産業保健総合支援センターは、和歌山県内の事業場における高年齢労働者に配慮した職場改善に対する企業の取り組み状況についてアンケート調査を行いました。本報告書はその結果をまとめたものです。本報告書が多くの事業場の方々、産業保健関係者等に広く活用され、高年齢労働者だけでなく誰もが働きやすい職場づくりの支援に繋がることを期待しています。

最後に、本調査にご協力いただきました事業場および関係各位に深く感謝申し上げます。

令和4年3月（研究実施年度末）

労働者健康安全機構

和歌山産業保健総合支援センター

所長 竹下 達也

目次

まえがき

I. 調査概要	1
1) 目的	1
2) 対象・方法	1
3) 産業保健調査実施体制	1
4) 調査結果	2
5) 考察	8
6) まとめ	12
II. 調査結果	13
資料	41

I 調査概要

I. 調査概要

1) 目的

「和歌山県における高年齢労働者に配慮した職場改善に関する調査研究」を2013年に行い、研修会や講演会などを開催することで、高年齢労働者に配慮した職場改善を支援してきた。調査研究から8年が経ち、和歌山県の高齢化率が28.0%（2013年）から32.4%（2019年）となり、配慮を必要とする高齢者が増加したため、支援の方向性や内容を再度検討する時期になった。

そこで、本研究は、和歌山県内の事業場における、高年齢労働者に配慮した職場改善の状況を明らかにするとともに、高年齢労働者に配慮した、今後の職場改善に向けた支援を検討することを目的とする。

2) 対象・方法

本研究では、和歌山産業保健総合支援センターがこれまでに行った調査の対象事業場（3200事業場）のうち予算の範囲内で調査できる約25%の事業場（800事業場）を抽出・選定し、質問紙調査を郵送法で実施した。この内、廃業した事業場等が20事業場あったため、対象事業場数は780となり、質問紙は180事業場から回収された（回収率23.1%）。

対象事業場の高年齢労働者の就業割合がわからないため、無作為抽出とした。質問票は郵送法にて配布した。回答後は封筒に入れ、和歌山産業保健総合支援センターに直接郵送するようにした。調査は2021年9月に行った。

質問紙の作成に当たり、高年齢労働者は、高齢者雇用安定法の55歳以上とした。

質問項目では、事業場について、安全衛生の総括管理、労働条件・作業員・作業負荷軽減・作業姿勢・作業環境・安全・健康（新型コロナウイルス感染症による在宅勤務等を含む）への配慮に加え、和歌山県健康づくり施策への参加状況、和歌山産業保健総合支援センターの支援について尋ねた。高年齢労働者は生理機能の個人差が大きいため、どのような作業や労働に就かせるのかによって、配慮の必要性が異なってくる。そのため、安全衛生の総括管理では、「高年齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応」について尋ねる項目も入れた。

解析は、高年齢労働者の就業割合別（2013年の調査の場合：20%未満、20%以上に分類）に、安全衛生の総括管理、労働条件・作業員・作業負荷軽減・作業姿勢・作業環境・安全・健康（新型コロナウイルス感染症による在宅勤務等を含む）への配慮、和歌山県健康づくり施策への参加状況、和歌山産業保健総合支援センターの支援への回答状況を集計し、それぞれの特徴を明確にした。

なお、2013年の調査では、高年齢労働者が労働者に占める割合の中央値で対象事業場を2つに区分し、20%未満の事業場（85事業場）と20%以上の事業場（85事業場）に分けて比較している。

3) 産業保健調査実施体制

調査責任者：	和歌山産業保健総合支援センター	所長	竹下達也
共同研究者：	和歌山産業保健総合支援センター	相談員	宮下和久
	和歌山産業保健総合支援センター	相談員	藤吉 朗

4) 調査結果

(1) 事業場について

アンケートは 180 事業場から収集できた (回収率 23.1%)。このうち、労働者数あるいは 55 歳以上の人数が無回答のものを除外したので、分析できたものは 170 (有効回収率 21.8%) であった。

調査に回答した事業場の業種は、製造業が 21%と最も多く、次いで、サービス業が多かった (18%)。

今回特に着目した高年齢労働者が労働者に占める割合で対象事業場を区分する際には、2013 年の調査結果と比較しやすいように同様の基準を用いることとし、高年齢労働者が 20%未満の事業場 (61 事業場) と 20%以上の事業場 (109 事業場) に分け、比較することにした。

労働者数の規模を 50 人未満、50 人以上 100 人未満、100 人以上と分けてみると、高年齢労働者が 20%未満の事業場 (以下、20%未満の事業場) は 50 人未満の事業場が 70%であり、小規模の小さい事業場が多かった。一方、高年齢労働者が 20%以上の事業場 (以下、20%以上の事業場) は、50 人未満の事業場が 73%であり、高年齢労働者の割合による差は見られなかった。

産業医の選任も専属もいない事業場は、20%未満の事業場の 79%に比べ、20%以上の事業場は 70%であったが、有意な差ではなかった。

衛生管理者の選任も専任もいない事業場は、20%未満の事業場の 64%に比べ、20%以上の事業場は 55%であったが、有意な差ではなかった。

衛生推進者が選任されている事業場は、20%未満の事業場の 26%に比べ、20%以上の事業場は 38%であったが、有意な差ではなかった。

保健師・看護師の常勤も非常勤もいない事業場は、20%未満の事業場の 90%に比べ、20%以上の事業場は 83%であったが、有意な差ではなかった。

(安全) 衛生委員会が毎月開催されている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも 21%であった。一方、開催されていない事業場は、20%未満の事業場は 57%で、20%以上の事業場は 52%と、差はなかった。

継続雇用制度を利用できる年齢の上限を決めている事業場は、20%未満の事業場の 51%に比べ、20%以上の事業場は 57%であったが、有意な差ではなかった。継続雇用制度を利用できる年齢の上限は、20%未満の事業場は 65 歳が 77%と最も多く、次いで、70 歳が 16%であった。20%以上の事業場は 65 歳が 77%と最も多く、次いで、70 歳が 11%であった。

(2) 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の周知

「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン) の名前も内容も知っている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも 10%であった。

高年齢労働者の安全と健康確保のための特別な配慮が必要であると回答した事業場は、

20%未満の事業場は30%で、20%以上の事業場は28%と、差はなかった。

高齢労働者が安心して安全に働くための職場環境の整備等に要する費用を補助する制度（エイジフレンドリー補助金）の名前も内容も知っている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも7%であった。

健康診断や体力測定により把握した個々の高齢労働者の健康や体力の状況に応じて、安全と健康の点で適合する業務に就かせている事業場は、20%未満の事業場は61%で、20%以上の事業場は64%と、差はなかった。

（3）安全衛生の総括管理

高齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策の基本方針を表明している事業場は、20%未満の事業場の7%に比べ、20%以上の事業場は17%であったが、有意な差ではなかった。

高齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策を推進する計画を策定している事業場は、20%未満の事業場は7%で、20%以上の事業場は10%と、差はなかった。

加齢に伴う身体・精神機能の低下による労働災害発生リスクに対応する観点から、高齢労働者の安全衛生対策の検討（リスクアセスメント）を行っている事業場は、20%未満の事業場の16%に比べ、20%以上の事業場は22%であったが、有意な差ではなかった。

高齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、相談しやすい体制を整備し、必要に応じて、作業内容や作業方法の変更、作業時間の短縮等を行っている事業場は、20%未満の事業場は51%で、20%以上の事業場は48%と、差はなかった。

高齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、発生リスクを下げるための教育や話し合い等を行っている事業場は、20%未満の事業場は51%で、20%以上の事業場は48%と、差はなかった。

（4）高齢労働者の労働条件への配慮

作業標準などでどんな作業をするのか、わかりやすく示している事業場は、20%未満の事業場は43%で、20%以上の事業場は44%と、差はなかった。

夜勤をなくしているか、夜勤形態や休日に配慮をしている事業場は、20%未満の事業場は56%で、20%以上の事業場は59%と、差はなかった。

フレックスタイムや時間単位年次有給休暇など、自由度の高い就業制度を実施している事業場は、20%未満の事業場は57%で、20%以上の事業場は54%と、差はなかった。

長期休業後の復職に際して、観察期間の延長や職場環境の調整などを行っている事業場は、20%未満の事業場の36%に比べ、20%以上の事業場は48%であったが、有意な差はでなかった。

（5）作業員への配慮（全労働者対象）

個人の特徴を把握して、作業内容や強度、作業時間などの調整を行っている事業場は、20%未満の事業場は61%で、20%以上の事業場は57%と、差はなかった。

作業員本人の意向、経験をふまえた職場配置を行っている事業場は、20%未満の事業場の57%に比べ、20%以上の事業場は64%であったが、有意な差ではなかった。

作業者本人が仕事の量や作業の進み具合等を確認できるようにしている事業場は、20%未満の事業場の39%に比べ、20%以上の事業場は45%であったが、有意な差ではなかった。

作業者からのヒアリングの機会を設けている事業場は、20%未満の事業場は46%で、20%以上の事業場は45%と、差はなかった。

(6) 作業負荷軽減への配慮（全労働者対象）

素早い判断や行動を要する作業がないようにしている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場ともに25%であった。

作業者が自主的に作業のペースや量をコントロールできるようにしている事業場は、20%未満の事業場は36%で、20%以上の事業場は32%と、差はなかった。

強い筋力や長時間筋力を要する作業を減らしている、あるいは、補助具を用いている事業場は、20%未満の事業場は26%で、20%以上の事業場は28%と、差はなかった。

注意集中が必要な作業は、ローテーション、分担、作業後の休憩時間を長くしている事業場は、20%未満の事業場は25%で、20%以上の事業場は28%と、差はなかった。

(7) 作業姿勢への配慮（全労働者対象）

体の曲げ伸ばしやねじれ姿勢などの不自然な姿勢となる作業を減らしている事業場は、20%未満の事業場の28%に比べ、20%以上の事業場は21%であったが、有意な差ではなかった。

作業時に椅子などを用いて長時間の立位作業を減らしている事業場は、20%未満の事業場の38%に比べ、20%以上の事業場は32%であったが、有意な差ではなかった。

必要なものは手の届く範囲にあり、体をねじることなく作業ができるようにしている事業場は、20%未満の事業場の39%に比べ、20%以上の事業場は34%であったが、有意な差ではなかった。

個人に合わせて選択・調整できる工具、椅子・作業台などを提供している事業場は、20%未満の事業場の43%に比べ、20%以上の事業場は32%であったが、有意な差ではなかった。

(8) 作業環境への配慮（全労働者対象）

掲示物、ディスプレイなどを見やすくするために、文字の大きさなどに配慮している事業場は、20%未満の事業場は33%で、20%以上の事業場は35%と、差はなかった。

作業場だけでなく、通路・階段なども適切な照度が確保されている事業場は、20%未満の事業場の66%に比べ、20%以上の事業場は54%であったが、有意な差ではなかった。

会話を妨げたり、異常音を聞き取りにくくしたりするような背景騒音を減らしている事業場は、20%未満の事業場の39%に比べ、20%以上の事業場は32%であったが、有意な差ではなかった。

暑熱・寒冷職場では、保護具の着用、継続時間の低減などの対策をとっている事業場は、20%未満の事業場の51%に比べ、20%以上の事業場は42%であったが、有意な差ではなかった。

(9) 安全への配慮（全労働者対象）

危険な場所での作業を減らす、機会をつくらないようにしている事業場は、20%未満の事業場は36%で、20%以上の事業場は37%と、差はなかった。

足場・はしご・脚立等を使用する場合には、安定したものを使用させている事業場は、20%未満の事業場は52%で、20%以上の事業場は54%と、差はなかった。

床面の傾斜・段差をなくす、手すりを設ける、安全靴を使用する等の措置を講じている事業場は、20%未満の事業場の46%に比べ、20%以上の事業場は41%であったが、有意な差ではなかった。

具体的な数値や色彩などで取り扱う物の重さが一目でわかるようにしている事業場は、20%未満の事業場の13%で、20%以上の事業場は14%と、差はなかった。

(10) 健康への配慮

運動、栄養、休養に関するアドバイスを受けられる環境を整備し、提供している事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場ともに34%であった。

生活習慣病などに対する知識や対策について健康指導・健康教育を受けさせている事業場は、20%未満の事業場は44%で、20%以上の事業場は41%と、差はなかった。

がん検診の受診を勧めるなど、がん対策を積極的に進めている事業場は、20%未満の事業場は36%で、20%以上の事業場は33%と、差はなかった。

治療と仕事との両立を図りながら、安心して働けるように必要な支援や環境整備を行っている事業場は、20%未満の事業場の39%に比べ、20%以上の事業場は34%であったが、有意な差ではなかった。

和歌山県が進めている「わかやま健康ポイント事業」に参加するように勧めている事業場は、20%未満の事業場は3%で、20%以上の事業場は7%と、差はなかった。

和歌山県が協会けんぽ和歌山支部と進めている「わかやま健康推進事業所」に参加している事業場は、20%未満の事業場は16%で、20%以上の事業場は20%と、差はなかった。

(11) 新型コロナウイルス感染症による在宅勤務等（全労働者対象）

新型コロナウイルス感染症のために在宅勤務を採用している事業場は、すべての部門と限られた部門を合わせると、20%未満の事業場の23%に比べ、20%以上の事業場は9%で、有意な差であった。

在宅勤務をしている労働者の体の健康管理（健康づくり）に、特別な配慮や措置をしている事業場は、20%未満の事業場は3%で、20%以上の事業場は2%と、差はなかった。

在宅勤務をしている労働者の心の健康管理（メンタルヘルス）に、特別な配慮や措置をしている事業場は、20%未満の事業場は5%で、20%以上の事業場は2%と、差はなかった。

(12) 和歌山産業保健総合支援センターの支援

高年齢労働者に配慮した職場改善について、産業保健総合支援センターに望むことは、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも、マニュアル・ガイドブック等の作成・配付（39%、49%）と、セミナー、講習会の開催等による情報提供（23%、25%）が多かった。

(13) 回答者の職種

回答者の職種・立場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも、担当職員（総務・人事など）（54%、50%）が最も多く、次いで、経営責任者（26%、25%）が多かった。

(14) 前回調査との比較

和歌山産業保健総合支援センターでは、同様の調査を2013年に行っている。その結果と比較することにした。今回の調査でも、2013年（前回）の調査でも、高年齢労働者の割合によって差がなかった項目が多かったため、両者を合わせて比較分析することとした。なお、前回調査では、20%未満の事業場では、労働者が100人以上の事業場が55%を占めており、20%以上の事業場では、50人未満の事業場、50人以上100人未満の事業場、100人以上の事業場がそれぞれ3割であることから、今回の調査では小規模事業場が多いことを念頭において比較しなければならない。

・高年齢労働者の労働条件への配慮

作業標準などでどんな作業をするのか、わかりやすく示している事業場は、今回の調査の方が少なかった。小規模事業場では、作業標準の作成が遅れていることが背景にあると考えられる。一方、フレックスタイムや時間単位年次有給休暇など、自由度の高い就業制度を実施している事業場は、今回の調査の方が多かった。小規模の事業場においても近年自由度の高い就業制度が普及していることが考えられる。

・作業への配慮

作業量や作業の進み具合等を確認できるようにしている事業場は、今回の調査の方が少なかった。小規模事業場では、このようなシステムの整備が遅れていることが背景にあると考えられる。

・作業負担軽減への配慮

強い筋力や長時間筋力を要する作業を減らしている、あるいは、補助具を用いている事業場、注意集中が必要な作業は、ローテーション、分担、作業後の休憩時間を長くしている事業場は、今回の調査の方が少なかった。小規模事業場では、作業負担軽減のための機械化、自動化が遅れていることが背景にあると考えられる。

・作業姿勢への配慮

体の曲げ伸ばしやねじれ姿勢などの不自然な姿勢となる作業を減らしている事業場は、今回の調査の方が少なかった。小規模事業場では、施設、設備の整備、改善が遅れていることが背景にあると考えられる。

・作業環境への配慮

作業場だけでなく、通路・階段なども適切な照度が確保されている事業場、会話を妨げたり、異常音を聞き取りにくくしたりするような背景騒音を減らしている事業場は、今回の調査の方が少なかった。小規模事業場では、施設、設備の整備、改善が遅れていることが背景にあると考えられる。

・安全への配慮

いずれの項目も今回の調査の方が少なかった。小規模事業場では、施設、設備の整備、改

善が遅れていることが背景にあると考えられる。その一方、取り扱う物の重さが一目でわかるようにする工夫は容易にできるため、積極的にを行うことが望まれる。

・健康への配慮

運動、栄養、休養に関するアドバイスを受けられる環境を整備し、提供している事業場は、今回の調査の方が少なかった。小規模事業場では、健康増進活動が低調であることが背景にあると考えられる。その一方、健康指導・健康教育を受けさせている事業場、がん対策を積極的に進めている事業場は差がないため、近年の動向を受け、積極的に取り組んでいることが推察された。

表 ほとんどできていると回答した割合の比較：今回の調査と前回の調査

項目		今回 (2021)	前回 (2013)	
労働条件への配慮	作業標準	43.5	64.7	**
	夜勤・休日	57.6	65.3	
	年次有給休暇	55.3	35.9	**
	休業後の復職	43.5	46.5	
作業者への配慮	作業の調整	58.2	53.5	
	職場配置	61.8	57.6	
	作業の確認	42.9	62.9	**
	ヒアリング	45.3	45.9	
作業負荷軽減への配慮	判断・行動	24.7	33.5	
	コントロール	33.5	28.8	
	強い筋力	27.1	47.1	**
	注意集中	27.1	37.6	*
作業姿勢への配慮	不自然な姿勢	23.5	40.0	**
	立位作業	34.1	37.1	
	手の届く範囲	35.9	41.2	
	椅子・作業台	35.9	34.1	
作業環境への配慮	ディスプレイ	34.1	42.9	
	適切な照明	58.2	74.7	**
	背景騒音	34.7	47.1	*
	暑熱・寒冷	45.3	52.4	
安全への配慮	危険な場所	36.5	59.4	**
	足場・はしご	53.5	66.5	*
	床面の傾斜	42.9	61.8	**
	物の重さ	13.5	27.1	**
健康への配慮	アドバイス	34.1	45.3	*
	健康教育	44.1	54.7	

数値は%を示す

* : $p < 0.05$ ** : $p < 0.01$ (z を用いた方法)

5) 考察

高年齢労働者とは何歳以上をいうかは統一的なものではなく、法令や行政においてそれぞれで、名称、年齢を決めている。例えば、高年齢者等の雇用の安定に関する法では、高年齢者を55歳以上としている。本調査研究では、高齢者雇用安定法に基づき55歳以上の者を高年齢労働者とした。

本調査研究における回収率は23.1%であり、結果解釈の際にはその代表性に留意する必要があるが、ここでは、今回特に着目した高年齢労働者が労働者に占める割合が20%以上の事業場について考察を進めることにする。

(1) 事業場について

20%未満の事業場、20%以上の事業場とも50人未満の事業場が7割であり、事業場規模による差は見られないが、いずれも小規模の事業場が多かった。したがって、管理体制を検討する際は、この点を加味して判断する必要がある。

産業医のいない事業場は7割、保健師・看護師のいない事業場は8割で、20%未満の事業場と差がなかった。衛生管理者のいない事業場は6割と多く、(安全)衛生委員会が毎月開催されていない事業場は5割であった。小規模事業場が7割を占めていることが関連していると考えられる。

継続雇用制度を利用できる上限を決めている事業場は6割で、その年齢は65歳が多かった。このことが、高年齢労働者の割合が高いことに関連していると考えられるが、20%未満の事業場と差がないため、今後詳しく検討する必要がある。

(2) 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の周知

高年齢労働者の割合に関係なく、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)、高年齢労働者が安心して安全に働くための職場環境の整備等に要する費用を補助する制度(エイジフレンドリー補助金)とも、その周知は低かった。また、高年齢労働者の安全と健康確保のための特別な配慮が必要であると回答した事業場も3割にとどまった。ガイドライン等の周知が必要である。しかし、個々の高年齢労働者の健康や体力の状況に応じて、安全と健康の点で適合する業務に就かせている事業場は6割と半数を超えていた。高年齢労働者への安全と健康の配慮が進んでいることが窺えた。

(3) 安全衛生の総括管理

高年齢労働者の割合に関係なく、高年齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策の基本方針を表明している事業場は2割未満で、安全衛生対策を推進する計画を策定している事業場は1割と、文章化による基本方針の表明、計画策定は進んでいなかった。

高年齢労働者の割合に関係なく、高年齢労働者の安全衛生対策の検討(リスクアセスメント)を行っている事業場は2割であったが、高年齢労働者による労働災害の発生リスクがあ

ると考える場合に、相談しやすい体制を整備し、必要に応じて、作業内容や作業方法の変更、作業時間の短縮等を行っている、あるいは、発生リスクを下げるための教育や話し合い等を行っている事業場は5割と、すでに対策や話し合いを行っている事業場が半数見られた。

(4) 高年齢労働者の労働条件への配慮

高年齢労働者の割合に関係なく、作業標準などで作業をわかりやすく示している事業場は4割、夜勤形態や休日に配慮をしている事業場は6割、フレックスタイムや時間単位年次有給休暇など、自由度の高い就業制度を実施している事業場は5割、長期休業後の復職に際して、観察期間の延長や職場環境の調整などを行っている事業場は5割と、高年齢労働者の労働条件に配慮ができていない事業場は、半数近くになっていた。高年齢労働者は通院の機会が増えることを考えると、時間単位の年次有給休暇など、自由度の高い就業制度の導入と、復職の際の職場環境の調整の実施が望まれる。

(5) 作業員への配慮（全労働者対象）

高年齢労働者の割合に関係なく、個人の特徴を把握して、作業内容や強度、作業時間などの調整を行っている事業場は6割、作業員本人の意向、経験をふまえた職場配置を行っている事業場は6割、作業員からのヒアリングの機会を設けている事業場は5割と、半数の事業場で行われていた。しかし、作業員本人が仕事の量や作業の進み具合等を確認できるようにしている事業場は4割であり、これらの確認ができるシステムの導入が望まれる。

(6) 作業負担軽減への配慮（全労働者対象）

高年齢労働者の割合に関係なく、素早い判断や行動を要する作業がないようにしている事業場は3割、作業員が自主的に作業のペースや量をコントロールできるようにしている事業場は3割、強い筋力や長時間筋力を要する作業を減らしている、あるいは、補助具を用いている事業場は3割、注意集中が必要な作業は、ローテーション、分担、作業後の休憩時間を長くしている事業場は3割と、作業負担軽減への配慮ができていない事業場は少なかった。作業負担軽減策を積極的に検討していく必要がある。

(7) 作業姿勢への配慮（全労働者対象）

高年齢労働者の割合に関係なく、体の曲げ伸ばしやねじれ姿勢などの不自然な姿勢となる作業を減らしている事業場は2割、作業時に椅子などを用いて長時間の立位作業を減らしている事業場は3割、必要なものは手の届く範囲にあり、体をねじることなく作業ができるようにしている事業場3割、個人に合わせて選択・調整できる工具、椅子・作業台などを提供している事業場は3割と、作業姿勢への配慮ができていない事業場は少なかった。作業姿勢への配慮を積極的に検討していく必要がある。

(8) 作業環境への配慮（全労働者対象）

高年齢労働者の割合に関係なく、作業場だけでなく、通路・階段なども適切な照度が確保されている事業場は5割を超えていたが、掲示物、ディスプレイなどを見やすくするために、

文字の大きさなどに配慮している事業場 3 割、会話を妨げたり、異常音を聞き取りにくくしたりするような背景騒音を減らしている事業場は 3 割、暑熱・寒冷職場では、保護具の着用、継続時間の低減などの対策をとっている事業場は 4 割と、照明以外は作業環境への配慮は、進んでいなかった。掲示物、ディスプレイなどの見やすさ対策と騒音対策は、安全管理の視点からも積極的な対策の推進が望まれる。

(9) 安全への配慮（全労働者対象）

高年齢労働者の割合に関係なく、足場・はしご・脚立等を使用する場合には、安定したものを使用させている事業場は 5 割を超えていた。危険な場所での作業を減らす、機会をつくらないようにしている事業場は 4 割、床面の傾斜・段差をなくす、手すりを設ける、安全靴を使用する等の措置を講じている事業場は 4 割であったが、具体的な数値や色彩などで取り扱う物の重さが一目でわかるようにしている事業場は 1 割台であった。腰痛対策でも取り扱う重量は重要視する必要がある、高年齢労働者の多い職場だけでなく、すべての職場でさらなる対策の推進が望まれる。

(10) 健康への配慮（全労働者対象）

運動、栄養、休養に関するアドバイスを受けられる環境を整備し、提供している事業場は 3 割、生活習慣病などに対する知識や対策について健康指導・健康教育を受けさせている事業場は 4 割、がん検診の受診を勧めるなど、がん対策を積極的に進めている事業場は 3 割、治療と仕事との両立を図りながら、安心して働けるように必要な支援や環境整備を行っている事業場は 3 割と、健康管理への配慮ができていない事業場は半数に満たなかった。がんなどの生活習慣病は高年齢労働者に多いこと、生活習慣病は若年者から対策が必要であることを考えると、すべての職場で、生活習慣病に関するアドバイスを受けられる環境を積極的に整備することが望まれる。

一方、和歌山県が進めている「わかやま健康ポイント事業」に参加するように勧めている事業場は 1 割、和歌山県が協会けんぽ和歌山支部と進めている「わかやま健康推進事業所」に参加している事業場は 2 割と、和歌山県の関連している事業への参加は少なかった。積極的な参加が望まれる。

(11) 新型コロナウイルス感染症による在宅勤務等（全労働者対象）

新型コロナウイルス感染症のために在宅勤務を採用している事業場は 20%未満の事業場 23%に比べ、20%以上の事業場は 9%で、有意に少なかった。在宅勤務の採用は、年齢構成以外にも業種も関連するので、今後さらに検討する必要がある。その一方で、在宅勤務をしている労働者に対して、体の健康管理（健康づくり）、心の健康管理（メンタルヘルス）で特別な配慮や措置をしている事業場は 1 割なく、在宅勤務をしている労働者への特別な配慮や措置が望まれる。

(12) 和歌山産業保健総合支援センターの支援

高年齢労働者に配慮した職場改善について、産業保健総合支援センターに望むことは、高

年齢労働者の割合に関係なく、マニュアル・ガイドブック等の作成・配付（39%、49%）、セミナー、講習会の開催等による情報提供（23%、25%）であったことから、本研究成果を活用した講習会を継続するとともに、ガイドブックを作製していく必要がある。

（13）回答者の職種

回答者の職種・立場は、高年齢労働者の割合に関係なく、担当職員（総務・人事など）が半数で、次いで、経営責任者が2割であった。小規模事業場が多いため、担当職員に加え、経営責任者も多く回答にしたと考えられる。

（参考文献）

- ・厚生労働省：高年齢者等の雇用の安定等に関する法律。
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=346AC0000000068>
- ・久保井総合保率事務所：高年齢者雇用について。
<http://www.kuboi-law.gr.jp/sys/columns/detail/31>
- ・厚生労働省：高年齢労働者に配慮した職場改善マニュアル～チェックリストと職場改善事項。
<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anken/0903-1.html>
- ・厚生労働省：年次有給休暇を時間単位で取得することが可能と言うことですが、どうすればよいのでしょうか。
http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/faq_kijyunhou_16.html
- ・厚生労働省：職場における腰痛予防対策指針について（平成25年6月改訂）。
<https://www.jaish.gr.jp/anken/hor/hombun/hor1-35/hor1-35-10-1-0.htm>
- ・厚生労働省：「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」
https://jsite.mhlw.go.jp/osaka-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anken_eisei/hourei_seido/_17129/eige_friendly_00002.html
- ・和歌山産業保健総合支援センター（旧和歌山産業保健連絡事務所）：和歌山県における高年齢労働者に配慮した職場改善に関する調査研究。産業保健調査研究報告書、平成26年3月
<http://wakayamas.johas.go.jp/wp-content/uploads/2016/05/H25yhoukoku.pdf>

6) まとめ

ここでは、高年齢労働者が労働者に占める割合が20%以上の事業場についてまとめる。

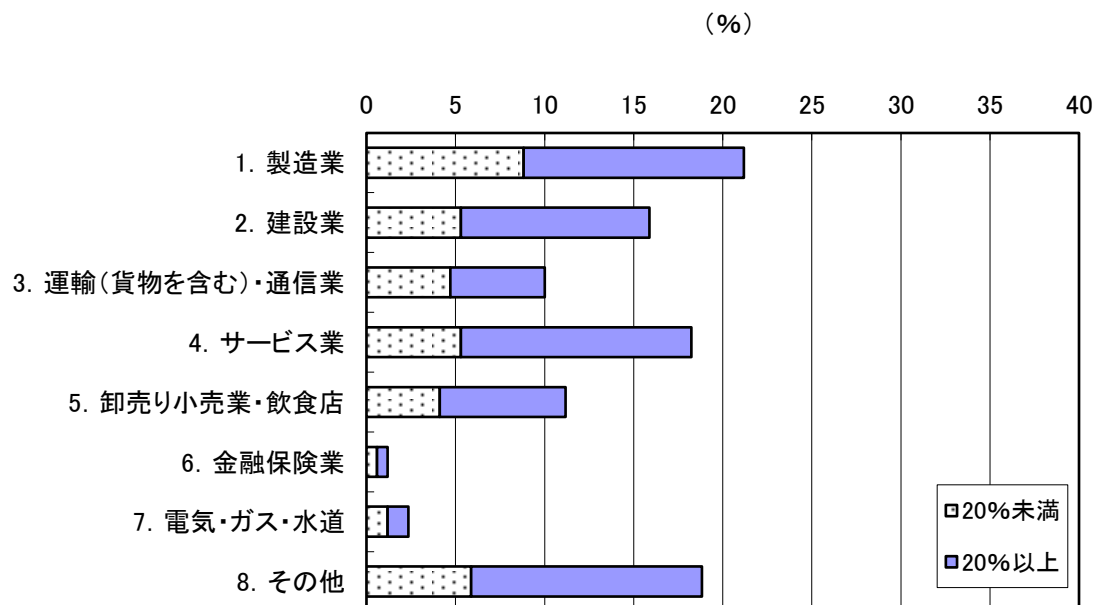
- (1) 20%以上の事業場は50人未満の事業場が7割であった。継続雇用制度を利用できる年齢の上限を決めている事業場は6割であった。その年齢は、65歳が8割であった。
- (2) 高年齢労働者の割合に関係なく、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)、高年齢労働者が安心して安全に働くための職場環境の整備等に要する費用を補助する制度(エイジフレンドリー補助金)とも、その周知は低かった。
- (3) 安全衛生対策における文章化による基本方針の表明、計画策定は進んでいなかった。リスクアセスメントを行っている事業場は少なかったが、すでに対策や話し合いを行っている事業場が半数見られた。
- (4) 高年齢労働者の労働条件への配慮の項目をほぼできている事業場は、半数近くになっていた。
- (5) 作業員への配慮の項目をほぼできている事業場は、半数であった。
- (6) 作業負荷軽減への配慮の項目をほぼできている事業場は、少なかった。
- (7) 作業姿勢への配慮の項目をほぼできている事業場は、少なかった。
- (8) 作業環境への配慮の項目をほぼできている事業場は、「適切な照度が確保されている」で半数以上であったが、他の項目では少なかった。
- (9) 安全への配慮の項目をほぼできている事業場は、「安定したはしご等を使用させている」で半数以上であった、他の項目では少なかった。とくに、取り扱う物の重さが一目でわかるようにしている事業場は1割と少なく、対策の推進が望まれる。
- (10) 健康への配慮の項目をほぼできている事業場は、半数に満たなかった。和歌山県が推進している事業に参加している事業場も少なかった。
- (11) 新型コロナウイルス感染症による在宅勤務等を採用している事業場は、少なかった。
- (12) 高年齢労働者に配慮した職場改善について産業保健総合支援センターに望むことは、セミナー、講習会の開催等による情報提供と、マニュアル・ガイドブック等の作成・配付であった。

II 調査結果

I 事業場について

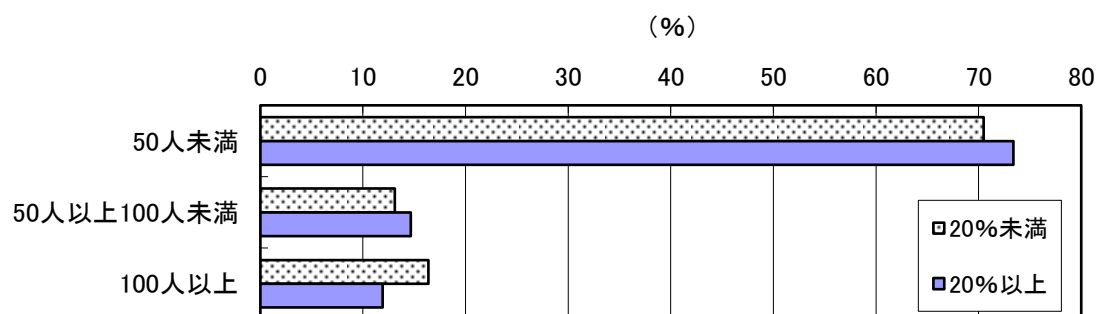
1) 事業場の業種

調査に回答した事業場の業種は、製造業が21%と最も多く、次いで、サービス業が多かった(18%)。



今回特に着目した高年齢労働者が労働者に占める割合を求めたところ、その中央値が26.7%であった。前回調査と比較して検討しやすいように、対象事業場を高年齢労働者が20%未満の事業場(61事業場)と20%以上の事業場(109事業場)に分け、比較することにした。なお、高年齢労働者数が無回答の2事業場は解析から除外した。

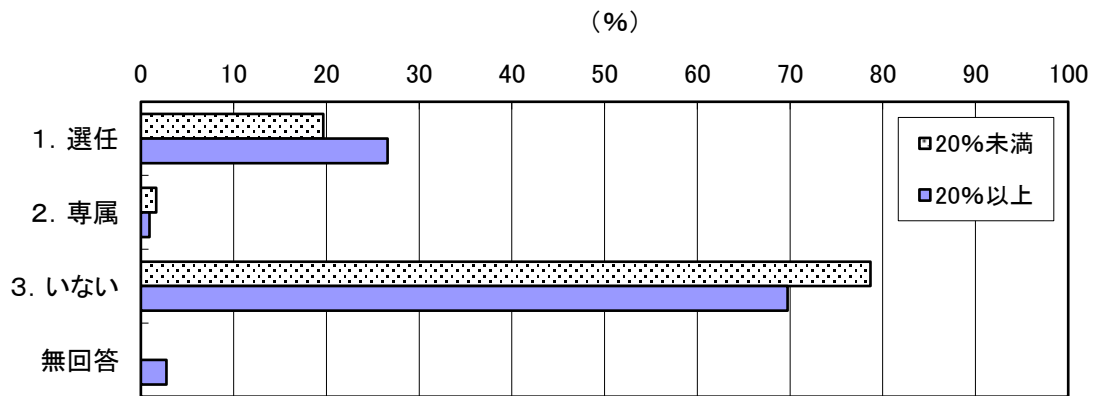
労働者数の規模を50人未満、50人以上100人未満、100人以上と分けてみると、高年齢労働者が20%未満の事業場(以下、20%未満の事業場)は50人未満の事業場が70%であり、小規模の事業場が多かった。一方、高年齢労働者が20%以上の事業場(以下、20%以上の事業場)は、50人未満の事業場が73%であり、高年齢労働者の割合による規模の差は見られなかった。



2) 管理体制

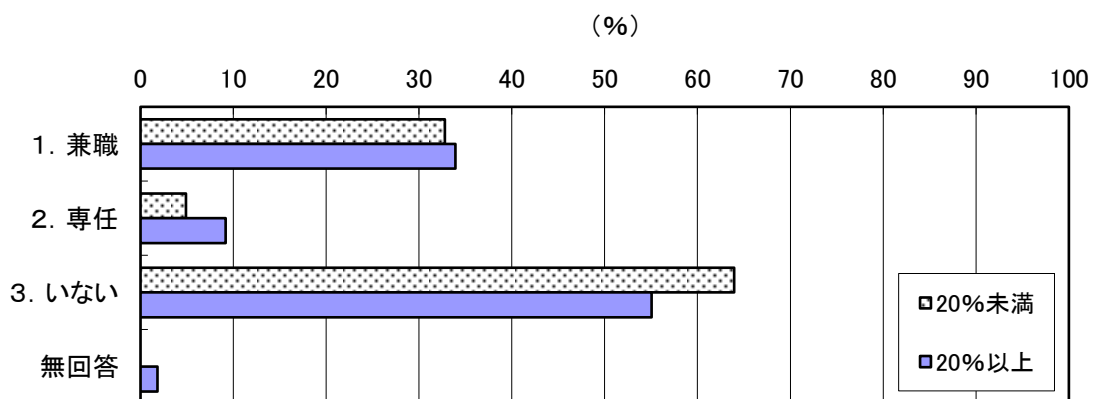
○産業医

産業医の選任も専属もない事業場は、20%未満の事業場の79%に比べ、20%以上の事業場は70%であったが、有意な差ではなかった。



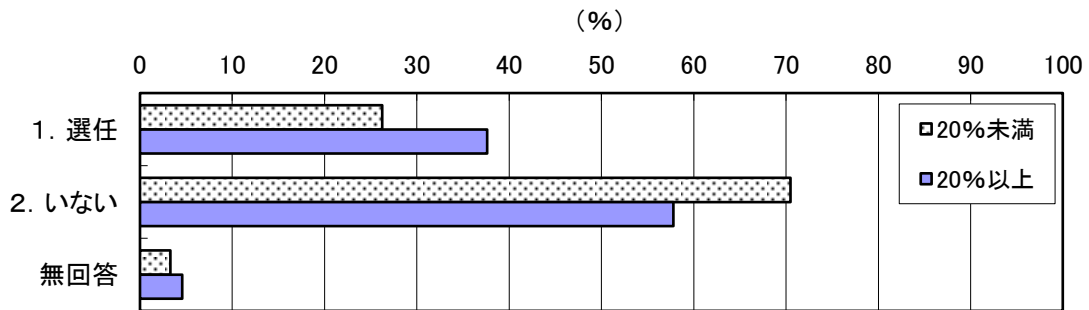
○衛生管理者

衛生管理者の選任も専任もない事業場は、20%未満の事業場の64%に比べ、20%以上の事業場は55%であったが、有意な差ではなかった。



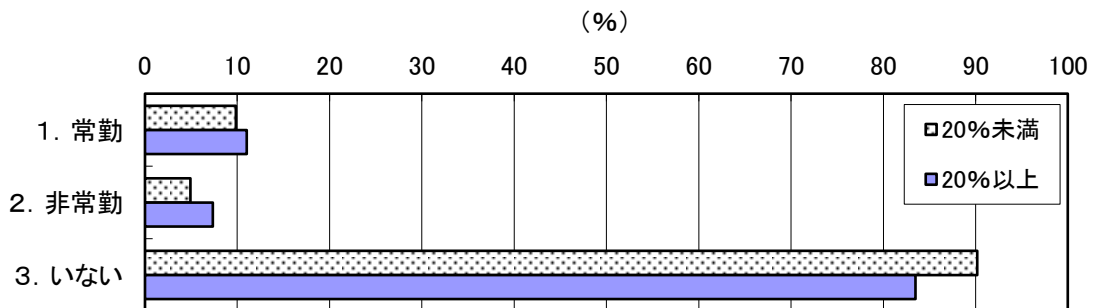
○衛生推進者

衛生推進者が選任されている事業場は、20%未満の事業場の26%に比べ、20%以上の事業場は38%であったが、有意な差ではなかった。



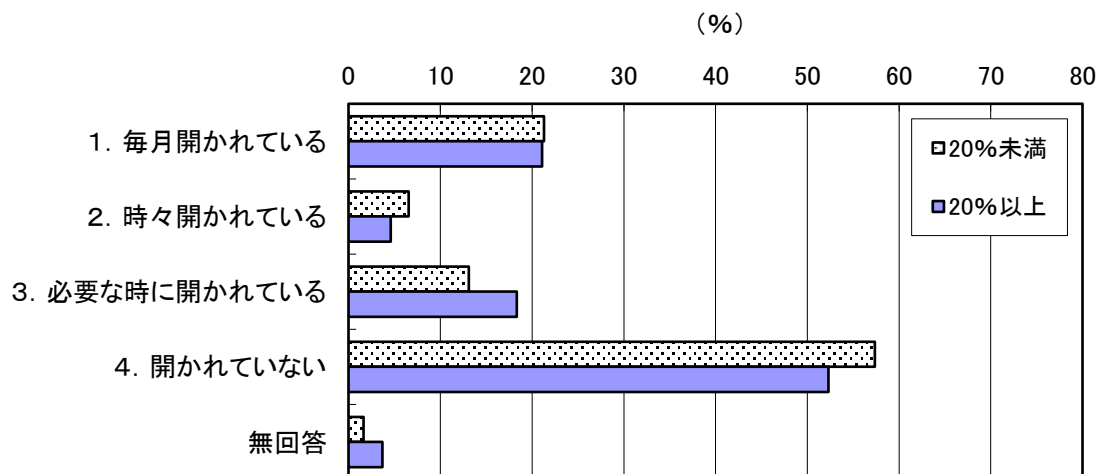
○保健師・看護師

保健師・看護師の常勤も非常勤もない事業場は、20%未満の事業場の90%に比べ、20%以上の事業場は83%であったが、有意な差ではなかった。



○衛生委員会（安全衛生委員会）

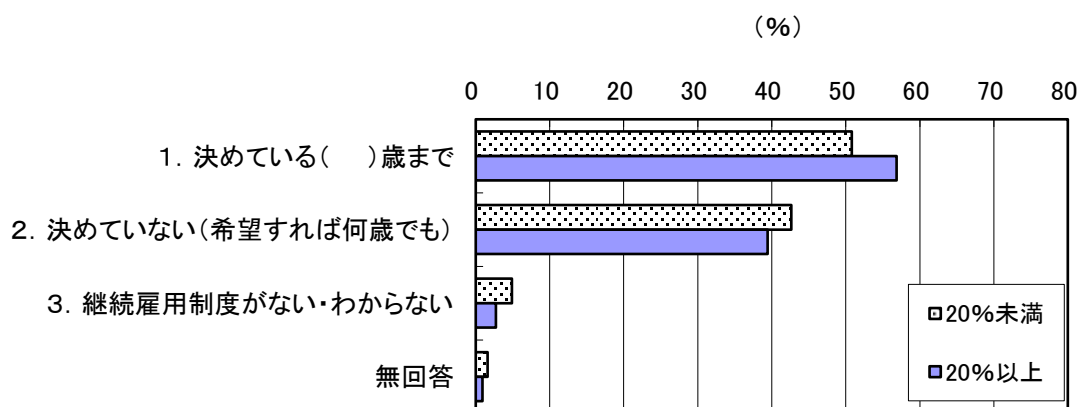
（安全）衛生委員会が毎月開催されている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも21%であった。一方、開催されていない事業場は、20%未満の事業場は57%で、20%以上の事業場は52%と、差はなかった。



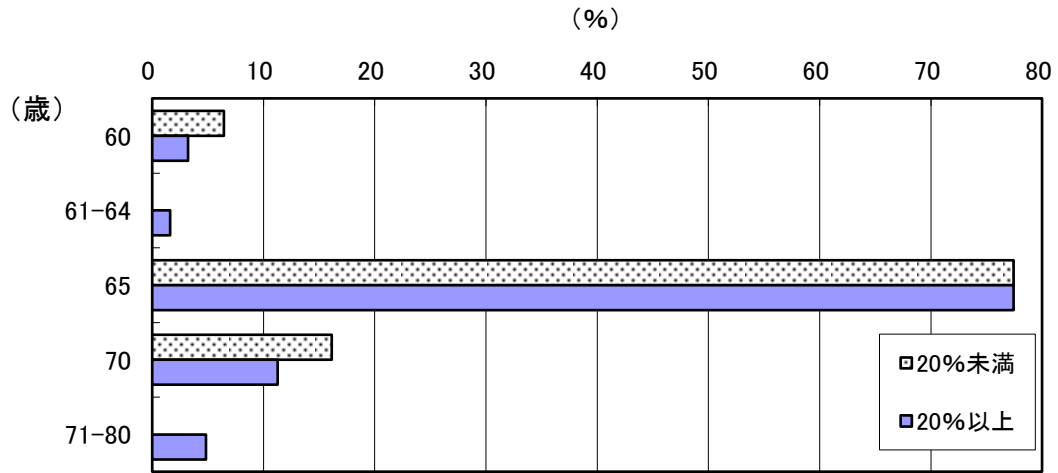
3) 雇用確保措置

○利用できる年齢の上限

継続雇用制度を利用できる年齢の上限を決めている事業場は、20%未満の事業場の51%に比べ、20%以上の事業場は57%であったが、有意な差ではなかった。



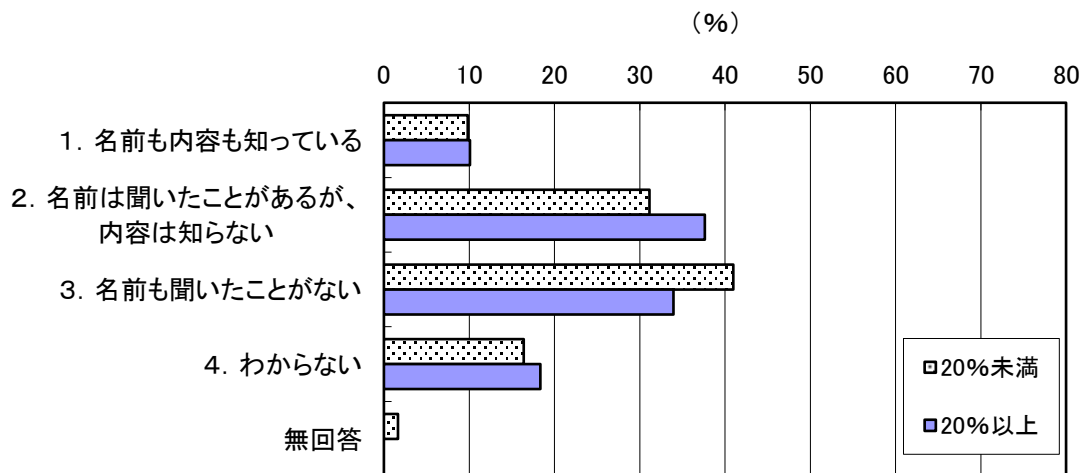
継続雇用制度を利用できる年齢の上限は、20%未満の事業場は 65 歳が 77%と最も多く、次いで、70 歳が 16%であった。20%以上の事業場は 65 歳が 77%と最も多く、次いで、70 歳が 11%であった。



II 「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の周知

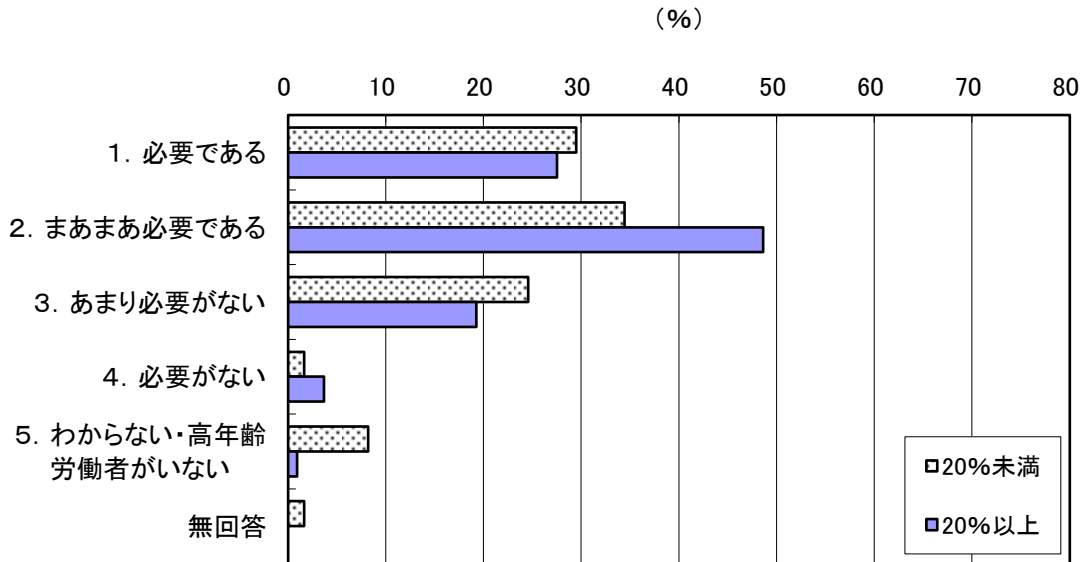
問1 「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)

ガイドラインの名前も内容も知っている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも 10%であった。



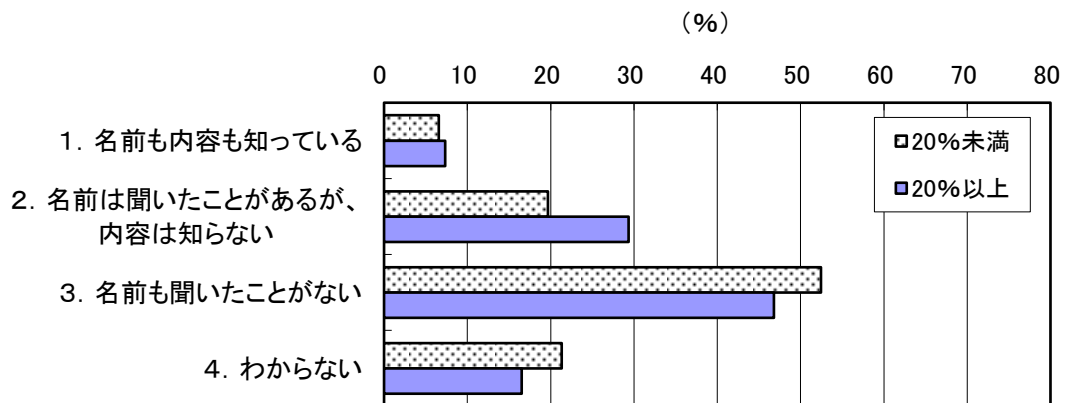
問2 自社における、高年齢労働者の安全と健康確保のための特別な配慮

特別な配慮が必要であると回答した事業場は、20%未満の事業場は30%で、20%以上の事業場は28%と、差はなかった。



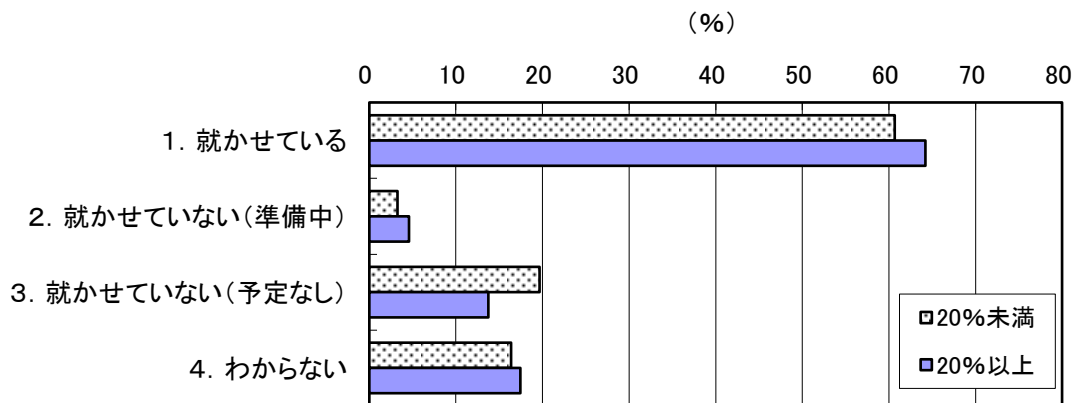
問3 高年齢労働者が安心して安全に働くための職場環境の整備等に要する費用を補助する制度（エイジフレンドリー補助金）

補助金制度の名前も内容も知っている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも7%であった。



問4 健康診断や体力測定により把握した個々の高年齢労働者の健康や体力の状況に応じて、安全と健康の点で適合する業務に就かせている

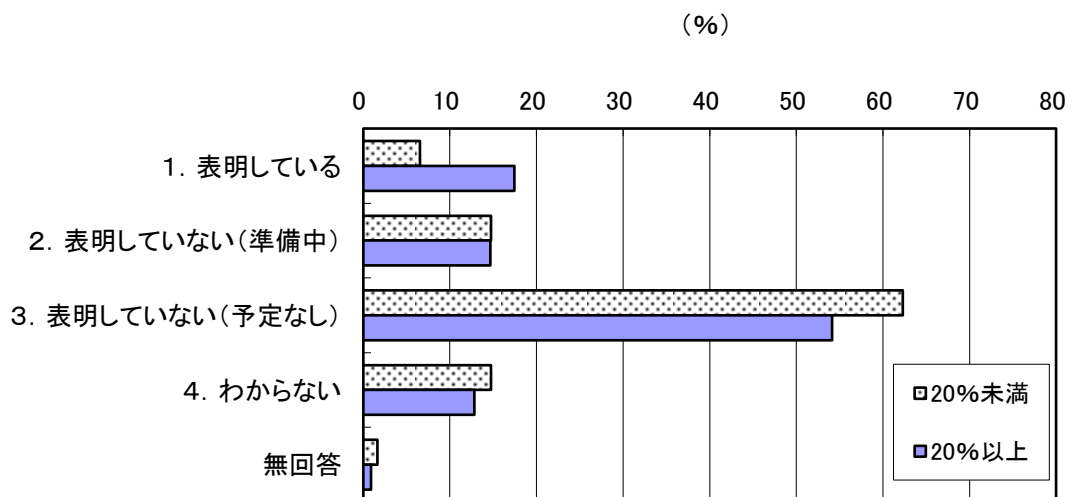
就かせている事業場は、20%未満の事業場は61%で、20%以上の事業場は64%と、差はなかった。



Ⅲ 安全衛生の総括管理

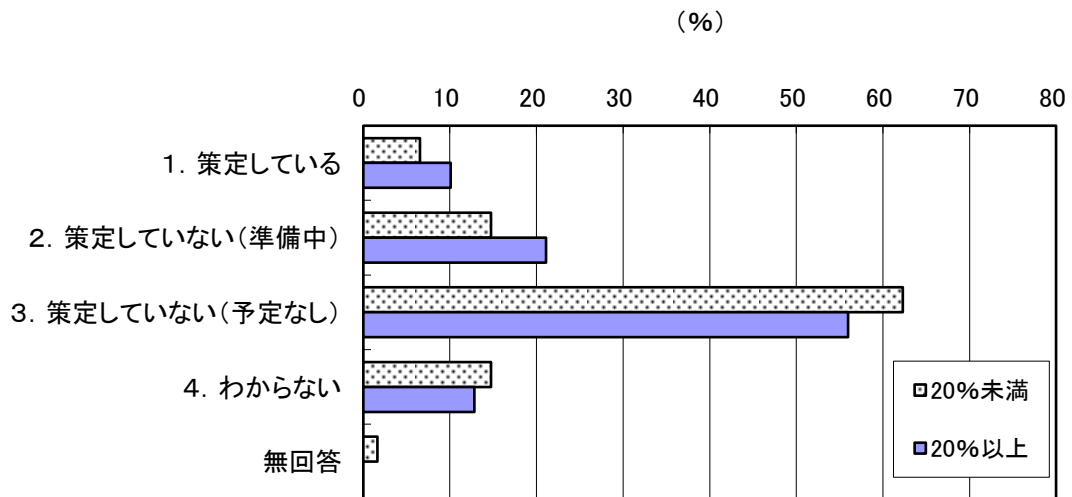
問5 高年齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策の基本方針を表明している

表明している事業場は、20%未満の事業場の7%に比べ、20%以上の事業場は17%であったが、有意な差ではなかった。



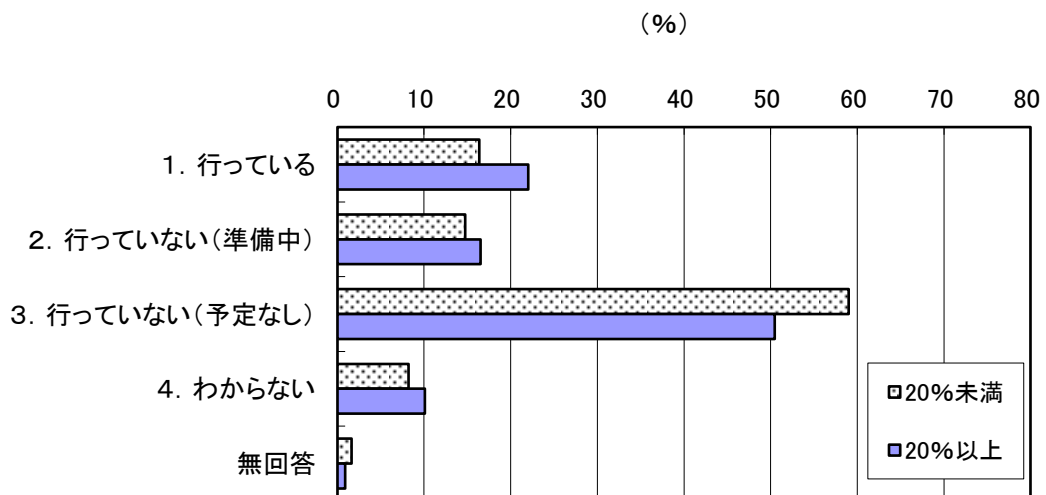
問6 高年齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策を推進する計画を策定している

策定している事業場は、20%未満の事業場は7%で、20%以上の事業場は10%と、差はなかった。



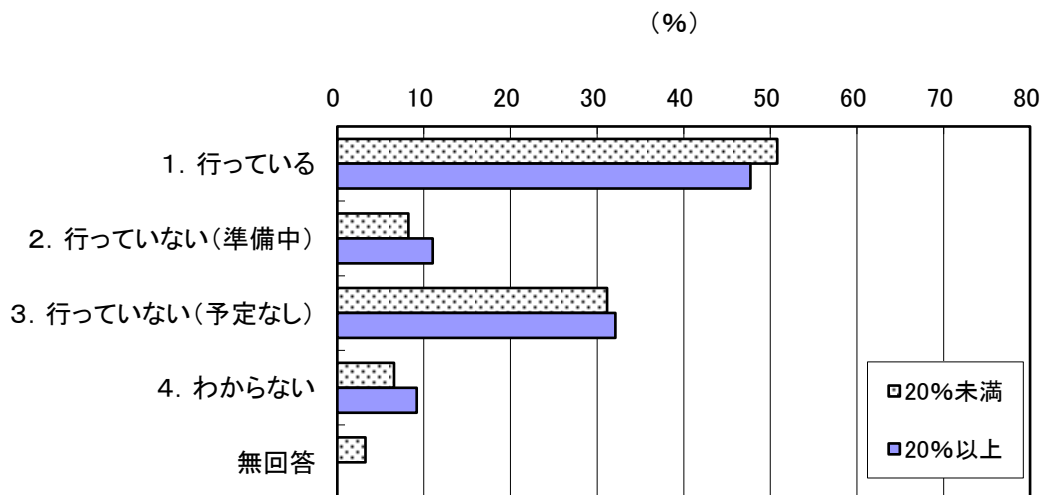
問7 加齢に伴う身体・精神機能の低下による労働災害発生リスクに対応する観点から、高年齢労働者の安全衛生対策の検討(リスクアセスメント)を行っている

行っている事業場は、20%未満の事業場の16%に比べ、20%以上の事業場は22%であったが、有意な差ではなかった。



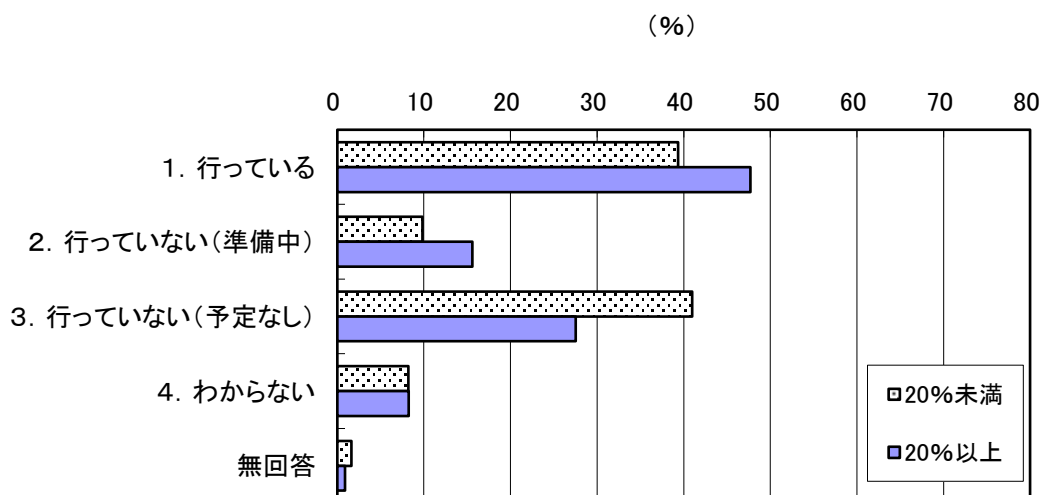
問8 高年齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、相談しやすい体制を整備し、必要に応じて、作業内容や作業方法の変更、作業時間の短縮等を行っている

行っている事業場は、20%未満の事業場は51%で、20%以上の事業場は48%と、差はなかった。



問9 高年齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、発生リスクを下げるための教育や話し合い等を行っている

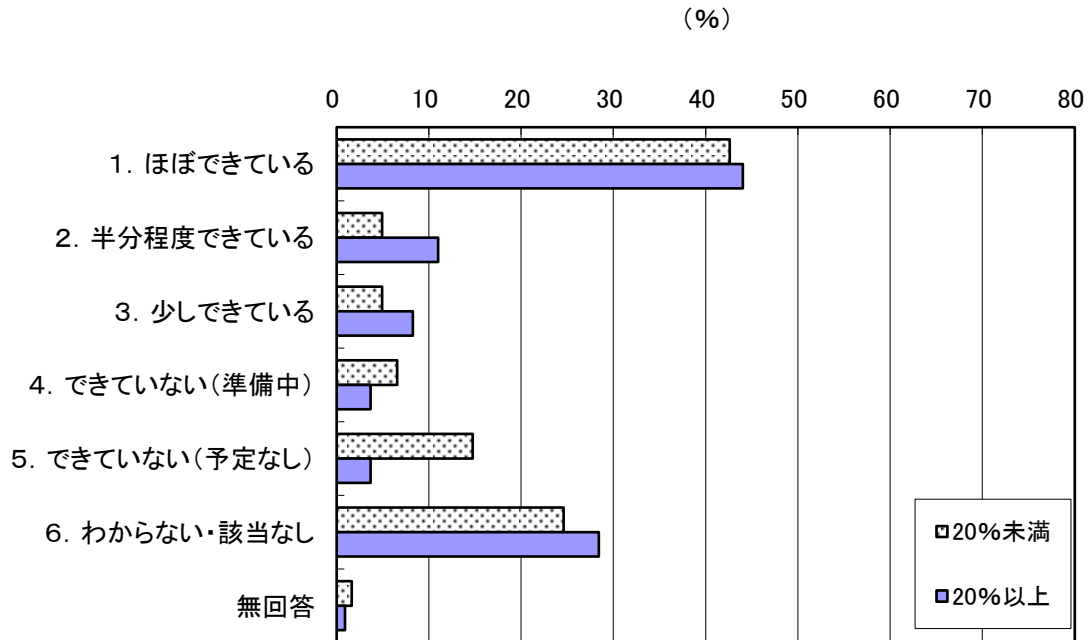
行っている事業場は、20%未満の事業場は39%で、20%以上の事業場は48%と、差はなかった。



IV 高年齢労働者の労働条件への配慮

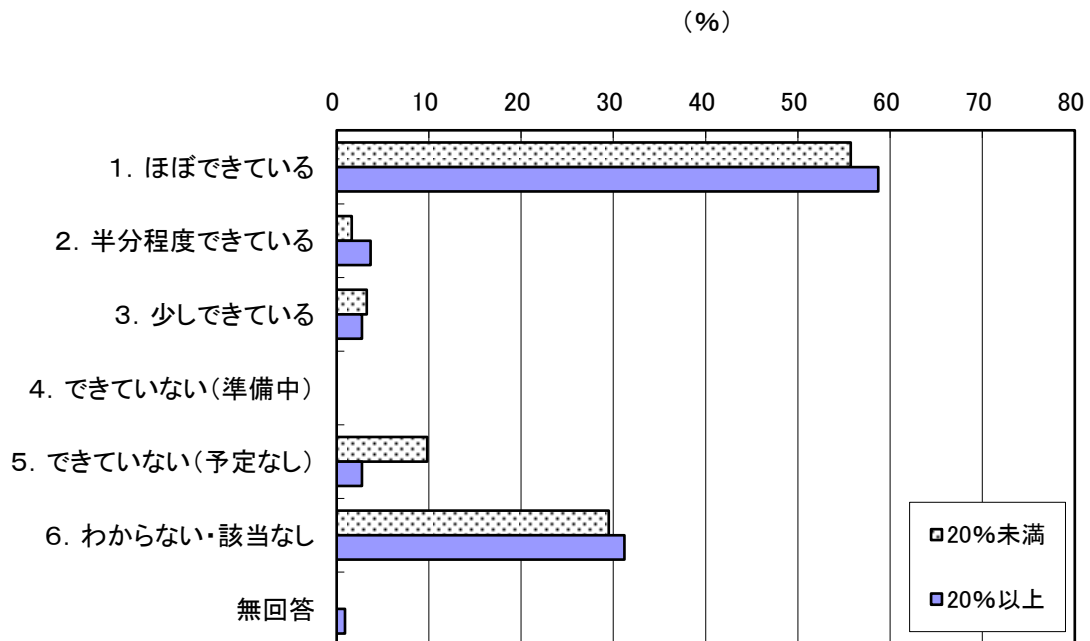
問 10 作業標準などでどんな作業をするのか、わかりやすく示している

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は43%で、20%以上の事業場は44%と、差はなかった。



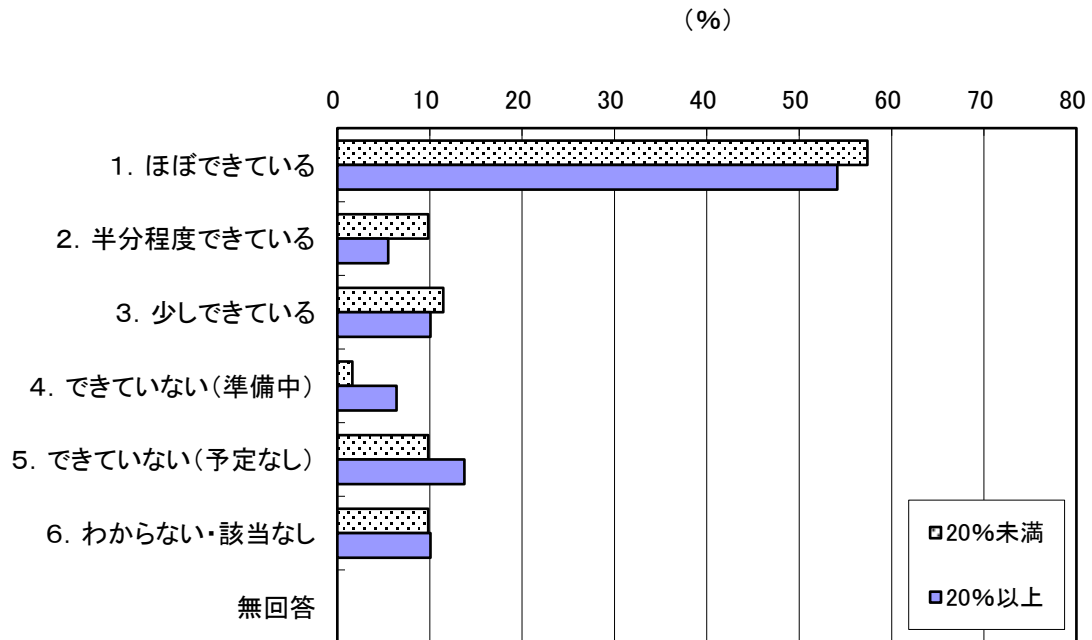
問 11 夜勤をなくしているか、夜勤形態や休日に配慮をしている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は56%で、20%以上の事業場は59%と、差はなかった。



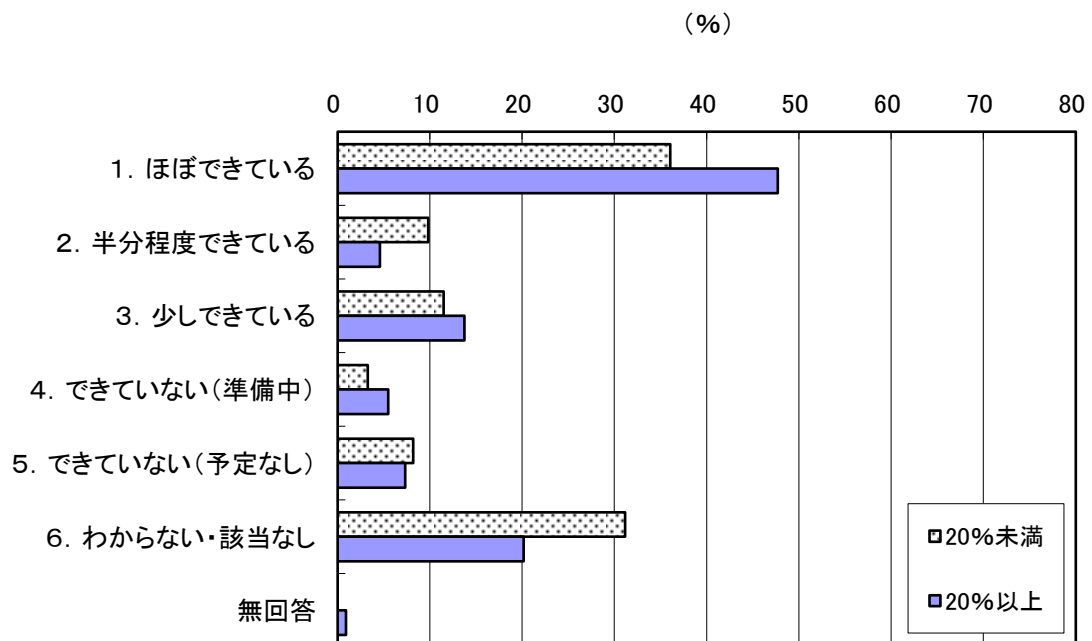
問 12 フレックスタイムや時間単位年次有給休暇など、自由度の高い就業制度を実施している

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は57%で、20%以上の事業場は54%と、差はなかった。



問 13 長期休業後の復職に際して、観察期間の延長や職場環境の調整などを行っている

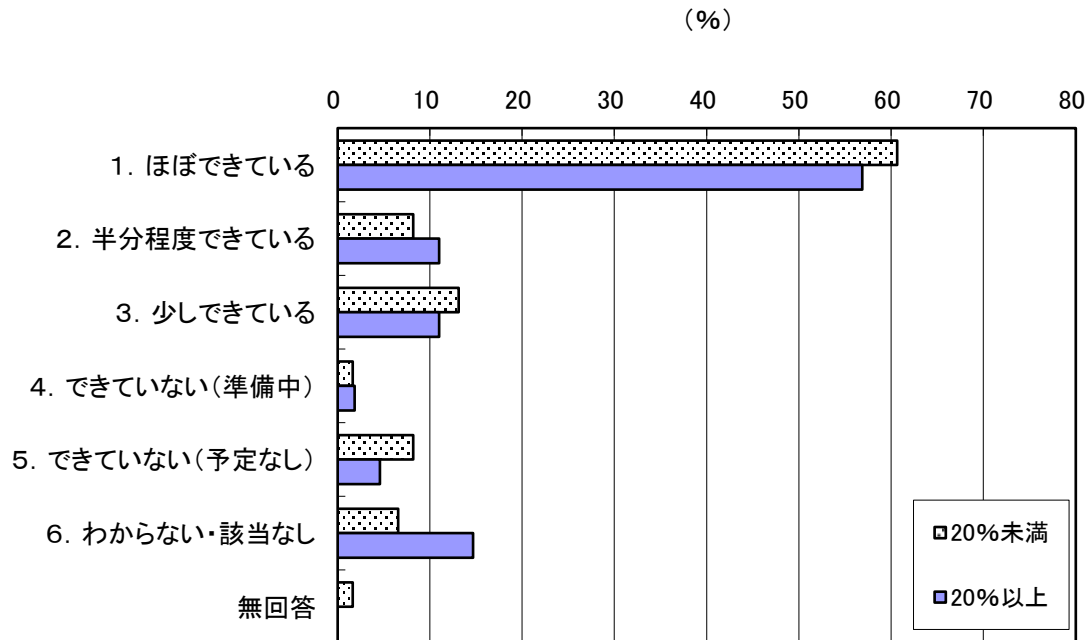
ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の36%に比べ、20%以上の事業場は48%であったが、有意な差ではなかった。



V 作業者への配慮（全労働者対象）

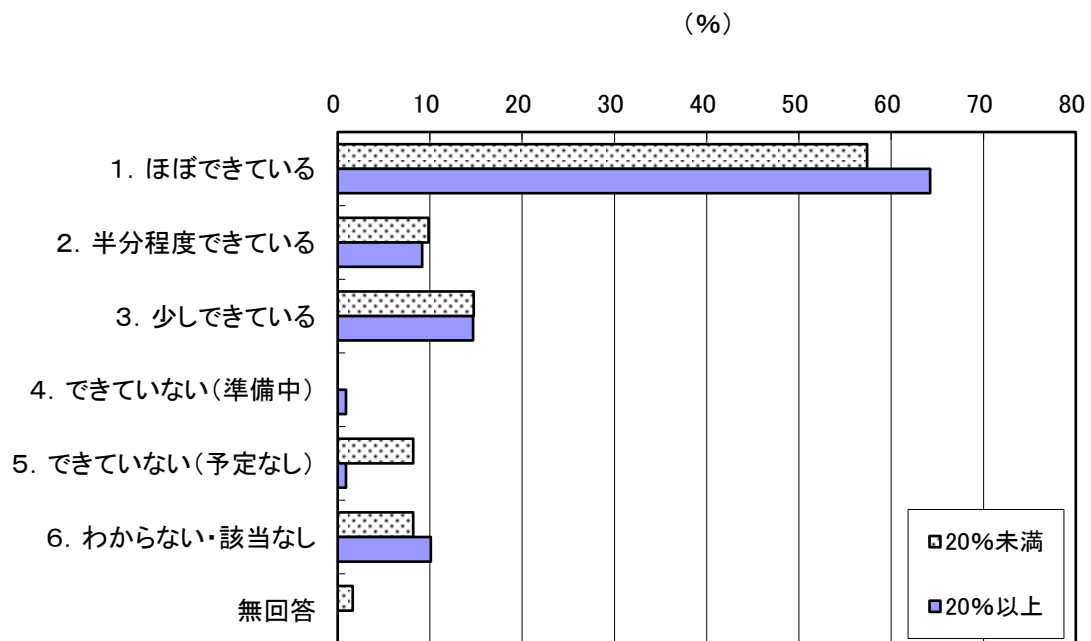
問 14 個人の特徴を把握して、作業内容や強度、作業時間などの調整を行っている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は61%で、20%以上の事業場は57%と、差はなかった。



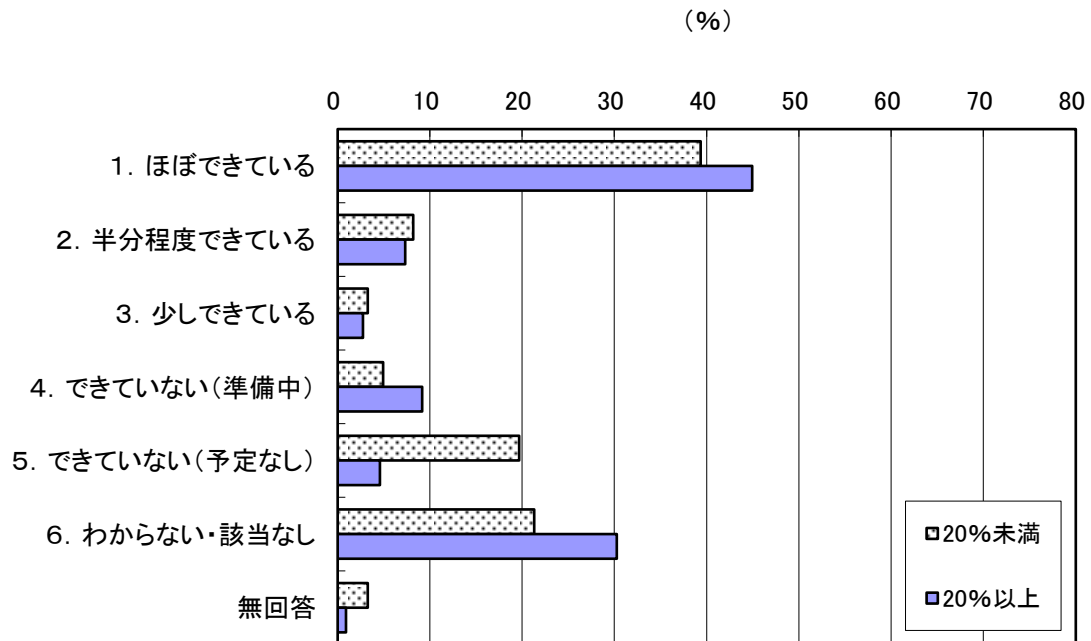
問 15 作業者本人の意向、経験をふまえた職場配置を行っている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の57%に比べ、20%以上の事業場は64%であったが、有意な差ではなかった。



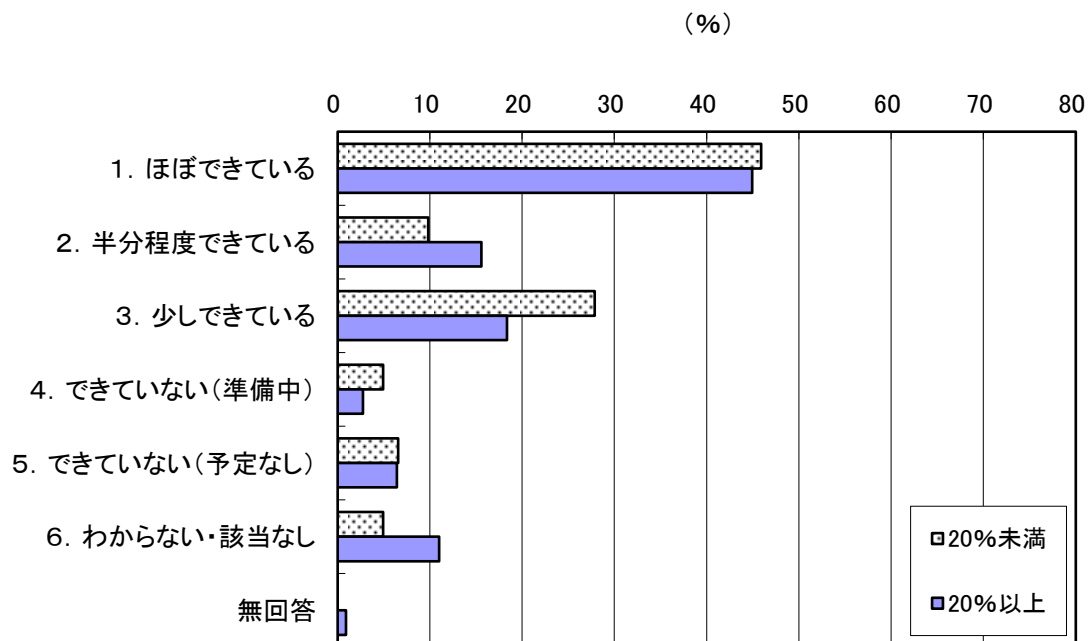
問 16 作業者本人が仕事の量や作業の進み具合等を確認できるようにしている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の39%に比べ、20%以上の事業場は45%であったが、有意な差ではなかった。



問 17 作業者からのヒアリングの機会を設けている

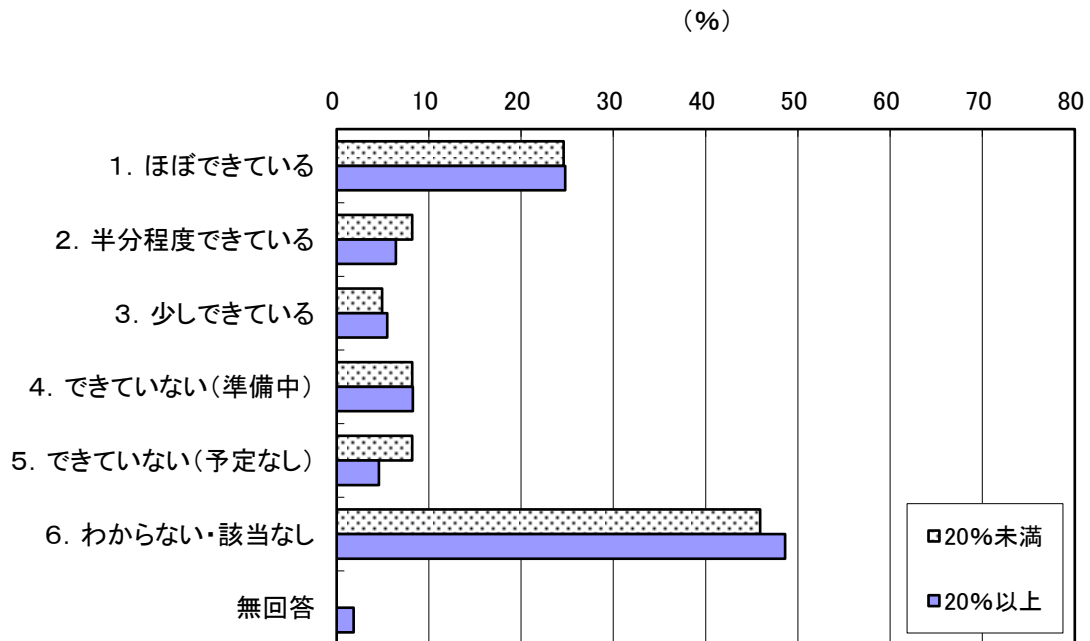
ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は46%で、20%以上の事業場は45%と、差はなかった。



VI 作業負荷軽減への配慮（全労働者対象）

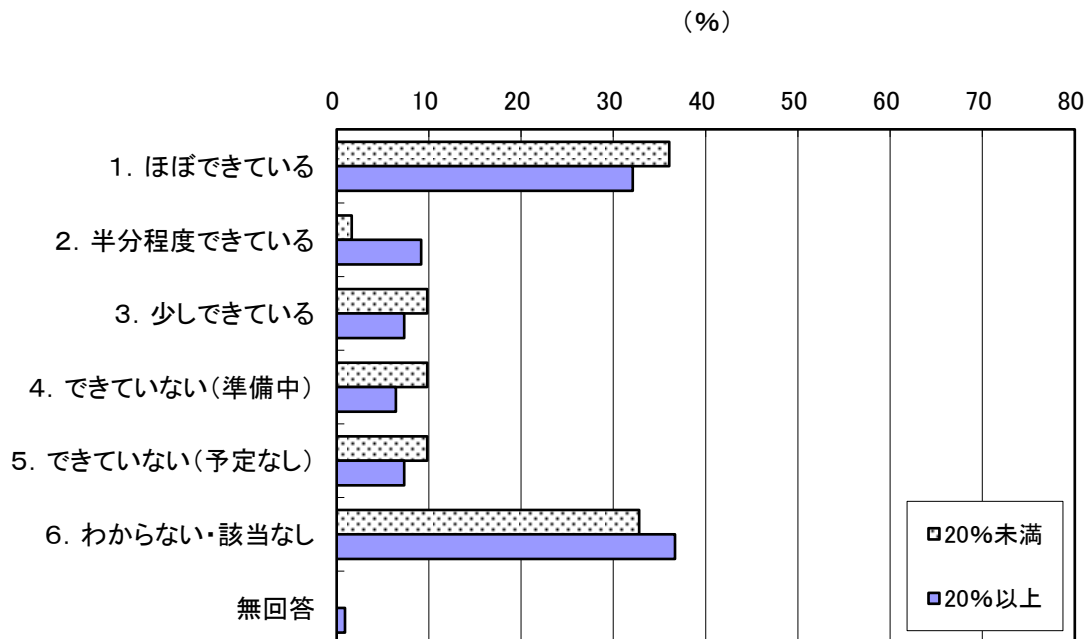
問 18 素早い判断や行動を要する作業がないようにしている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場ともに25%であった。

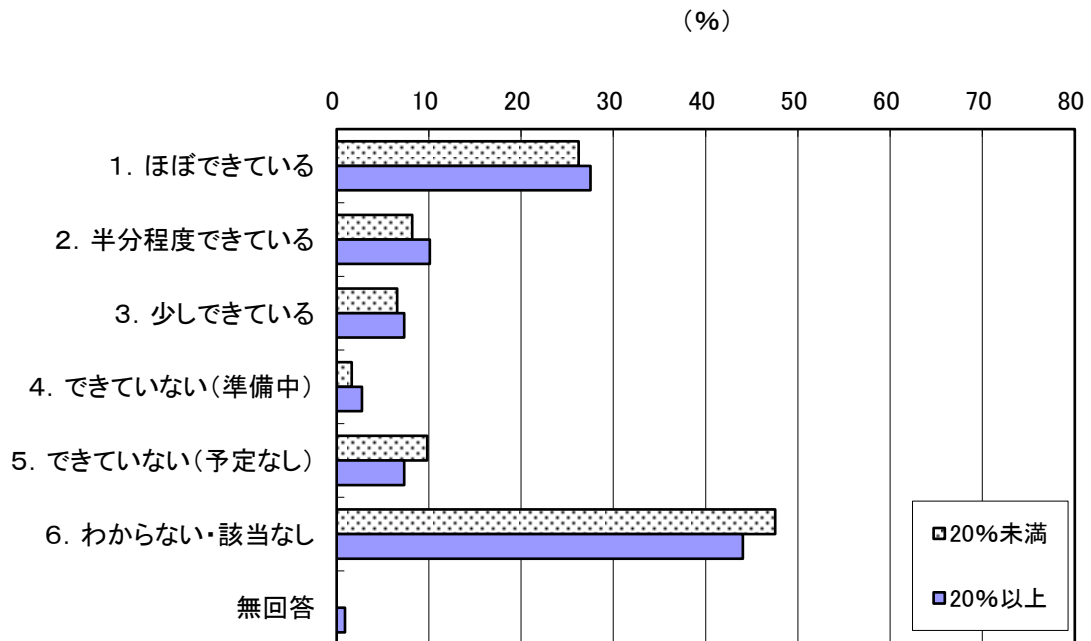


問 19 作業者が自主的に作業のペースや量をコントロールできるようにしている

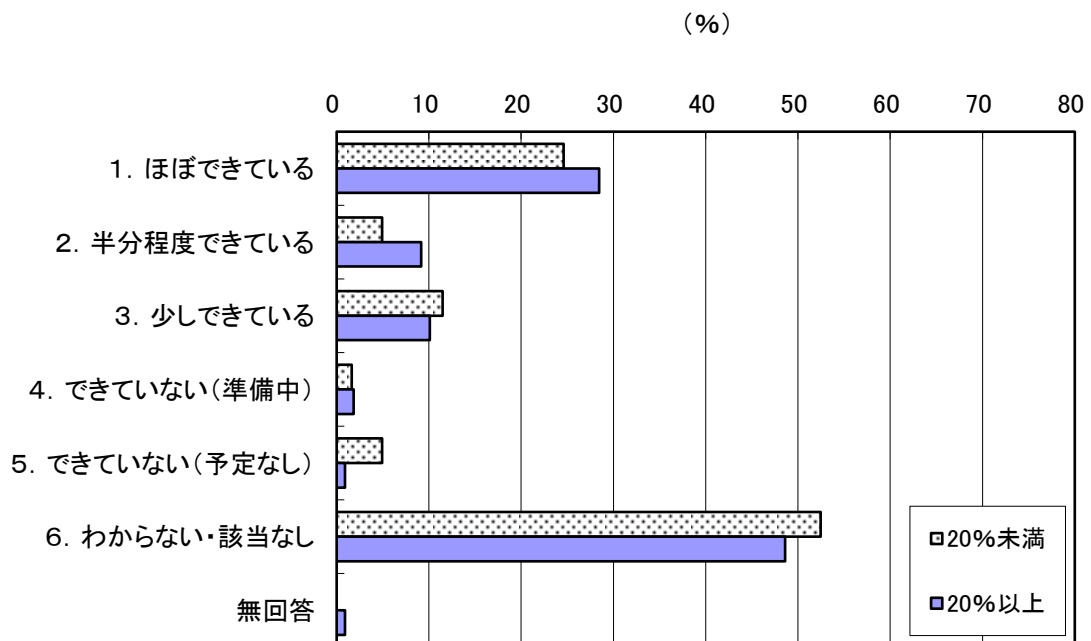
ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は36%で、20%以上の事業場は32%と、差はなかった。



問 20 強い筋力や長時間筋力を要する作業を減らしている、あるいは、補助具を用いている
 ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は26%で、20%以上の事業場は28%と、差は
 なかった。



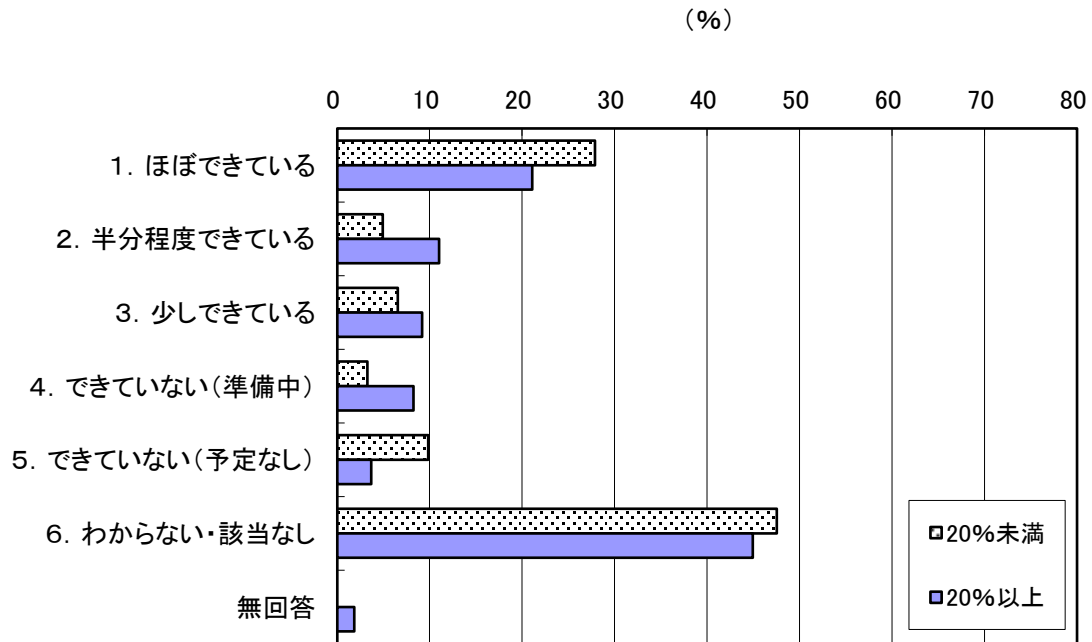
問 21 注意集中が必要な作業は、ローテーション、分担、作業後の休憩時間を長くしている
 ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は25%で、20%以上の事業場は28%と、差は
 なかった。



Ⅶ 作業姿勢への配慮（全労働者対象）

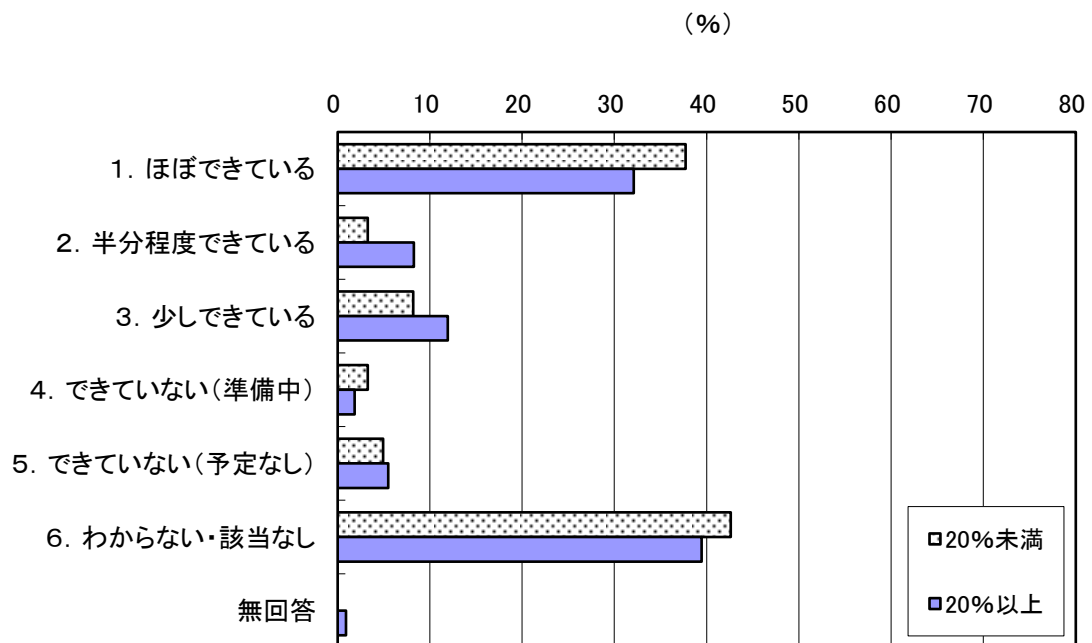
問 22 体の曲げ伸ばしやねじれ姿勢などの不自然な姿勢となる作業を減らしている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の28%に比べ、20%以上の事業場は21%であったが、有意な差ではなかった。

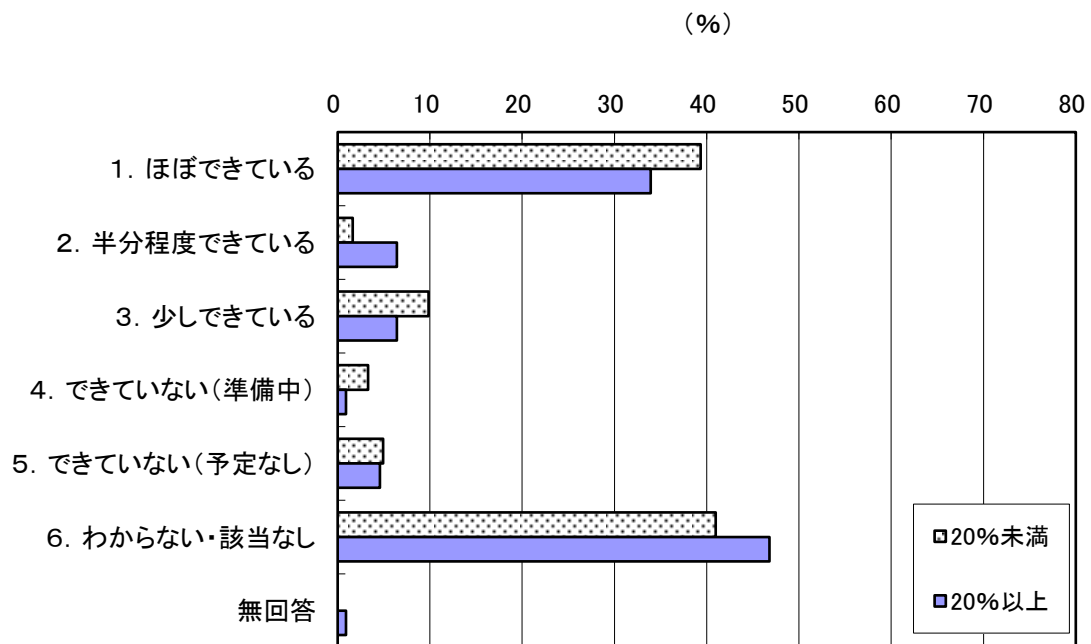


問 23 作業時に椅子などを用いて長時間の立位作業を減らしている

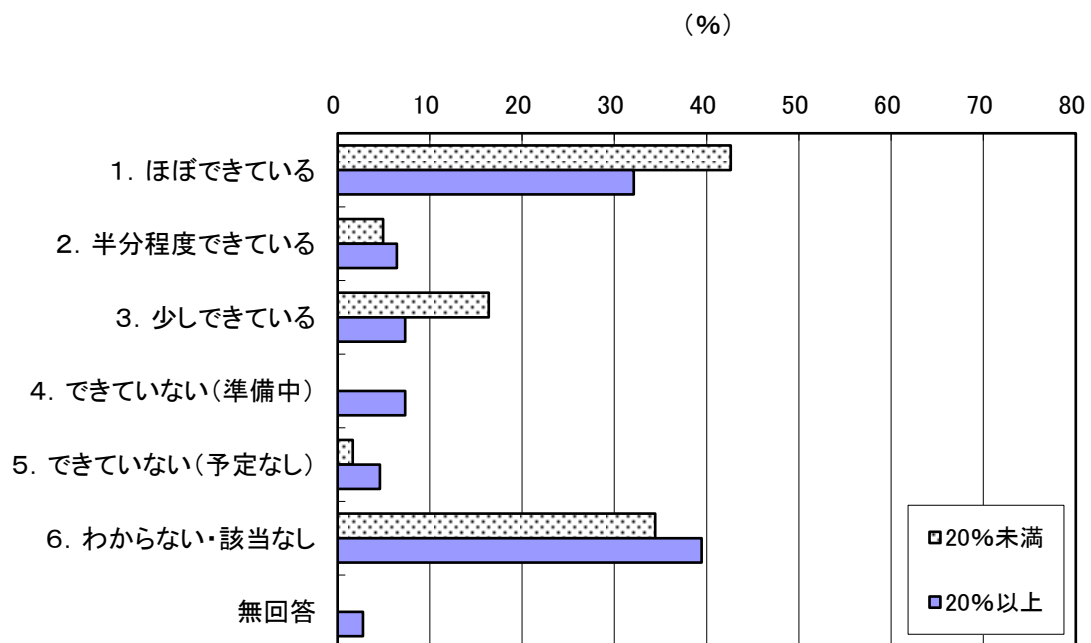
ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の38%に比べ、20%以上の事業場は32%であったが、有意な差ではなかった。



問 24 必要なものは手の届く範囲にあり、体をねじることなく作業ができるようにしている
 ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の39%に比べ、20%以上の事業場は34%であ
 ったが、有意な差ではなかった。

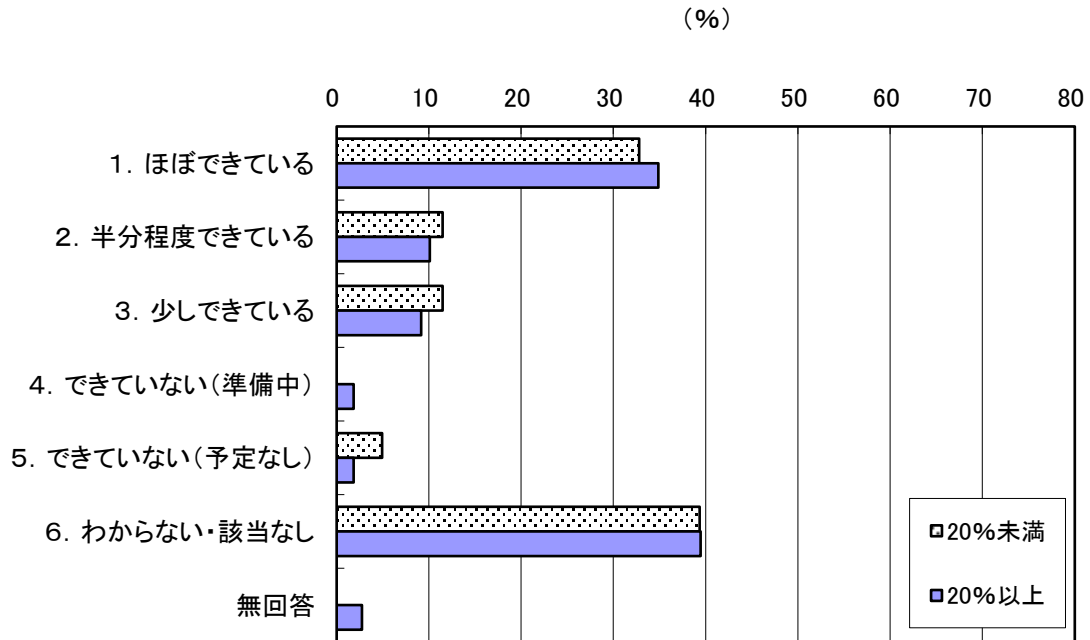


問 25 個人に合わせて選択・調整できる工具、椅子・作業台などを提供している
 ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の43%に比べ、20%以上の事業場は32%であ
 ったが、有意な差ではなかった。



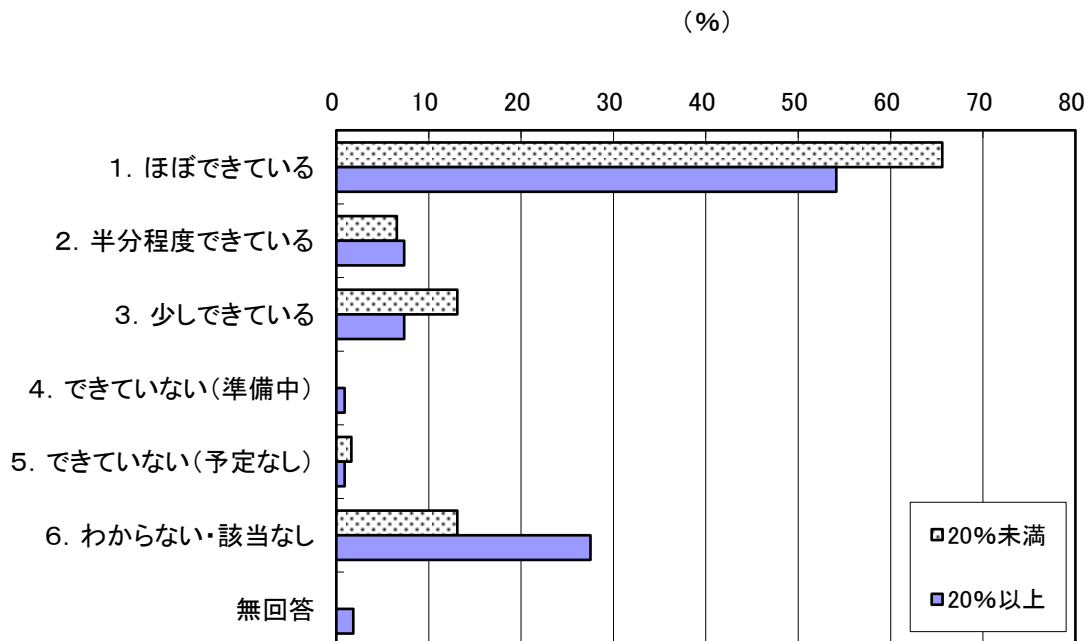
VIII 作業環境への配慮（全労働者対象）

問 26 掲示物、ディスプレイなどを見やすくするために、文字の大きさなどに配慮している
 ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は33%で、20%以上の事業場は35%と、差は
 なかった。

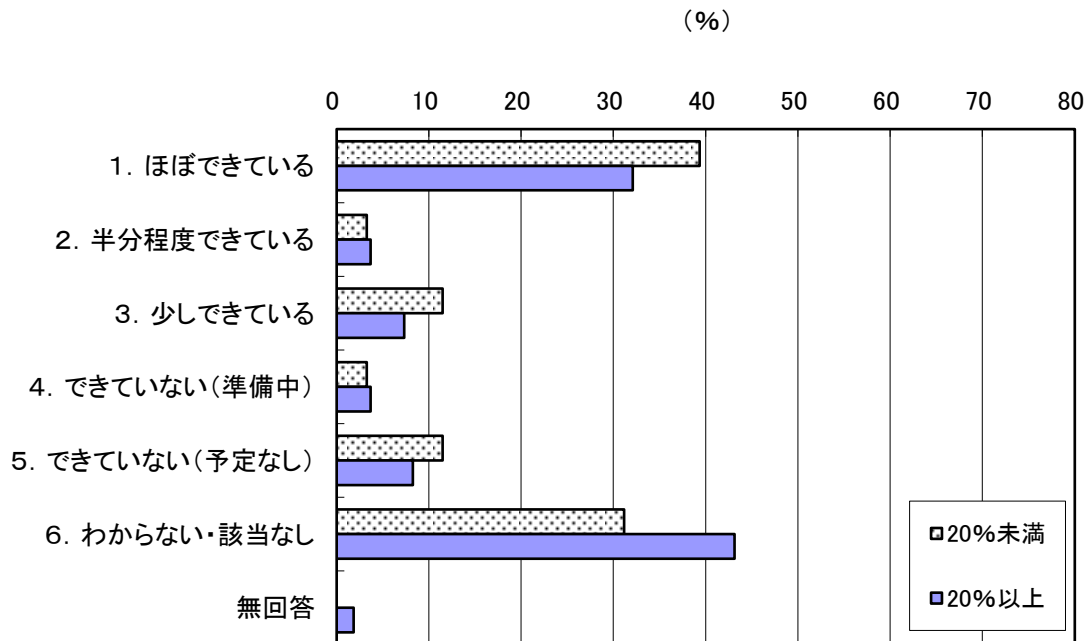


問 27 作業場だけでなく、通路・階段なども適切な照度が確保されている

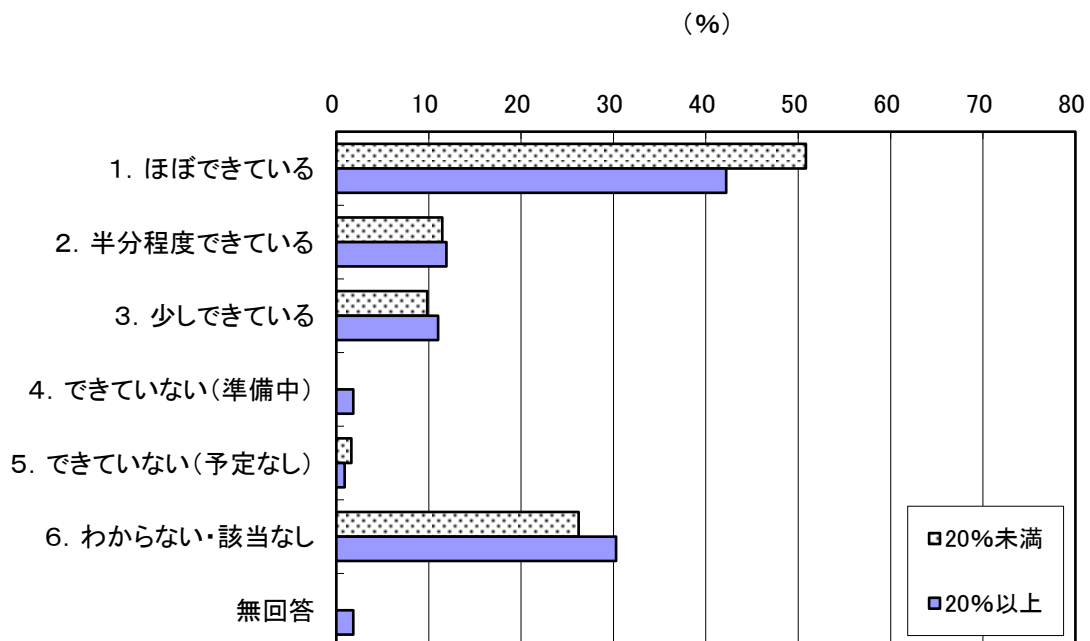
ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の66%に比べ、20%以上の事業場は54%であ
 ったが、有意な差ではなかった。



問 28 会話を妨げたり、異常音を聞き取りにくくしたりするような背景騒音を減らしている
 ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の39%に比べ、20%以上の事業場は32%であ
 ったが、有意な差ではなかった。



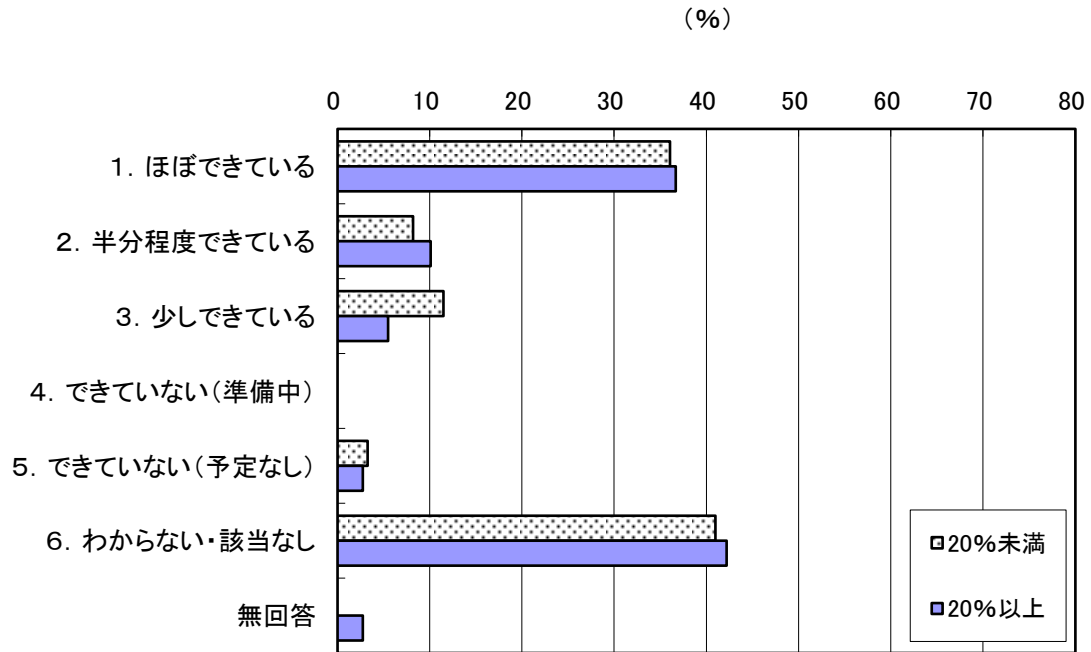
問 29 暑熱・寒冷職場では、保護具の着用、継続時間の低減などの対策をとっている
 ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の51%に比べ、20%以上の事業場は42%であ
 ったが、有意な差ではなかった。



IX 安全への配慮（全労働者対象）

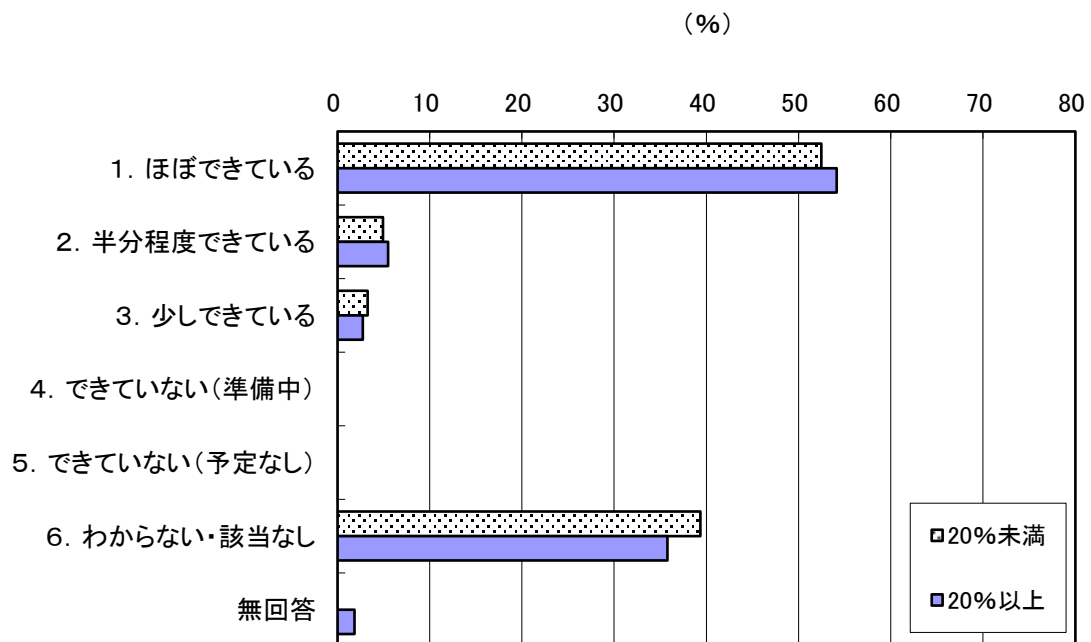
問 30 危険な場所での作業を減らす、機会をつくらないようにしている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は36%で、20%以上の事業場は37%と、差はなかった。



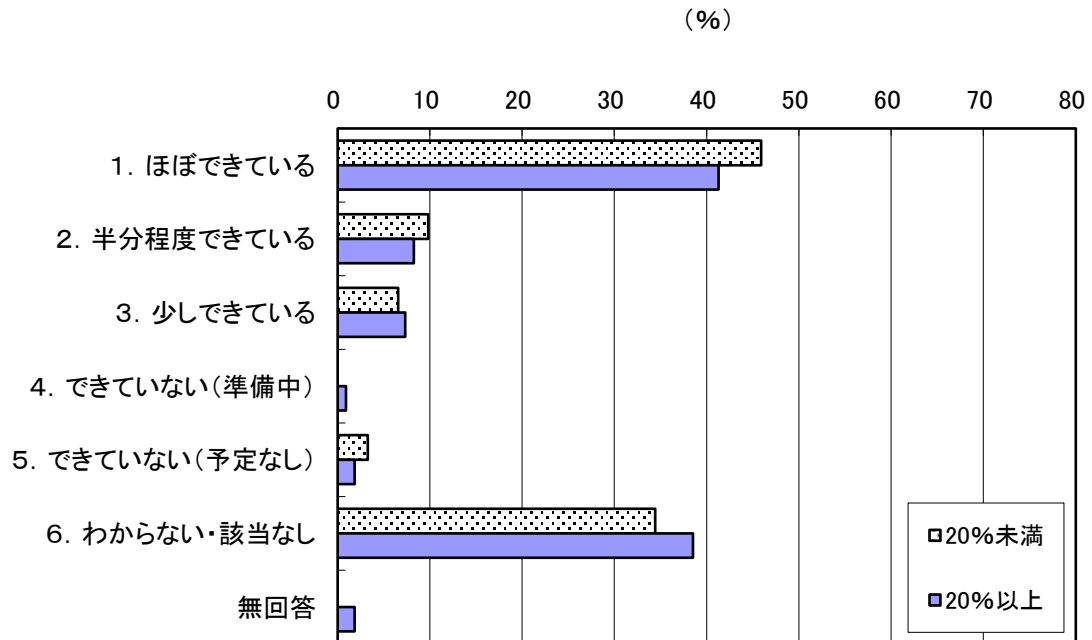
問 31 足場・はしご・脚立等を使用する場合には、安定したものを使用させている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は52%で、20%以上の事業場は54%と、差はなかった。



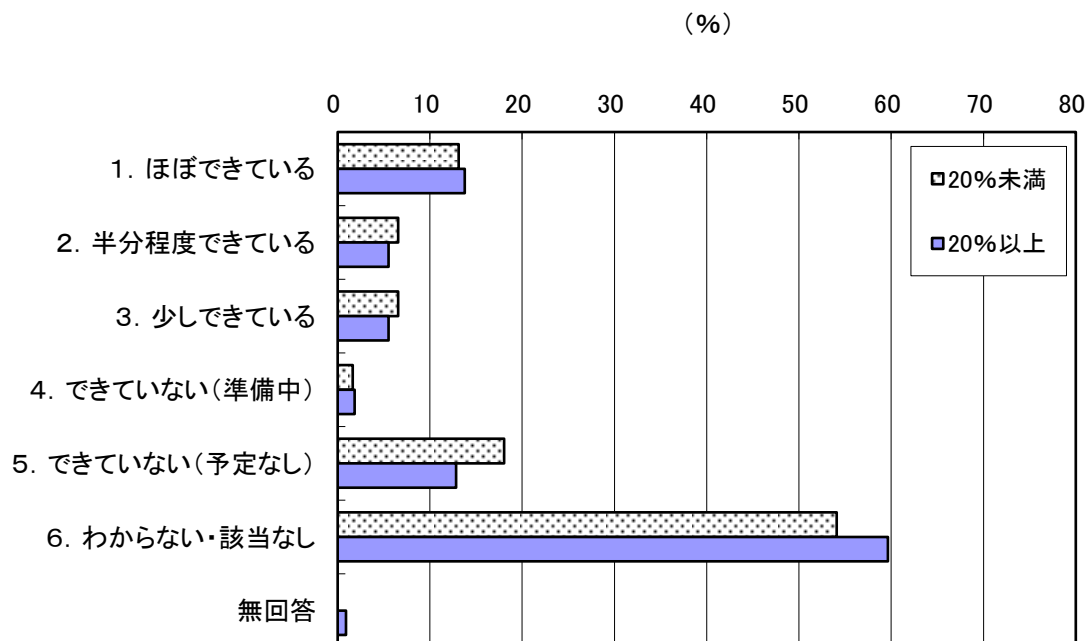
問 32 床面の傾斜・段差をなくす、手すりを設ける、安全靴を使用する等の措置を講じている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の46%に比べ、20%以上の事業場は41%であったが、有意な差ではなかった。



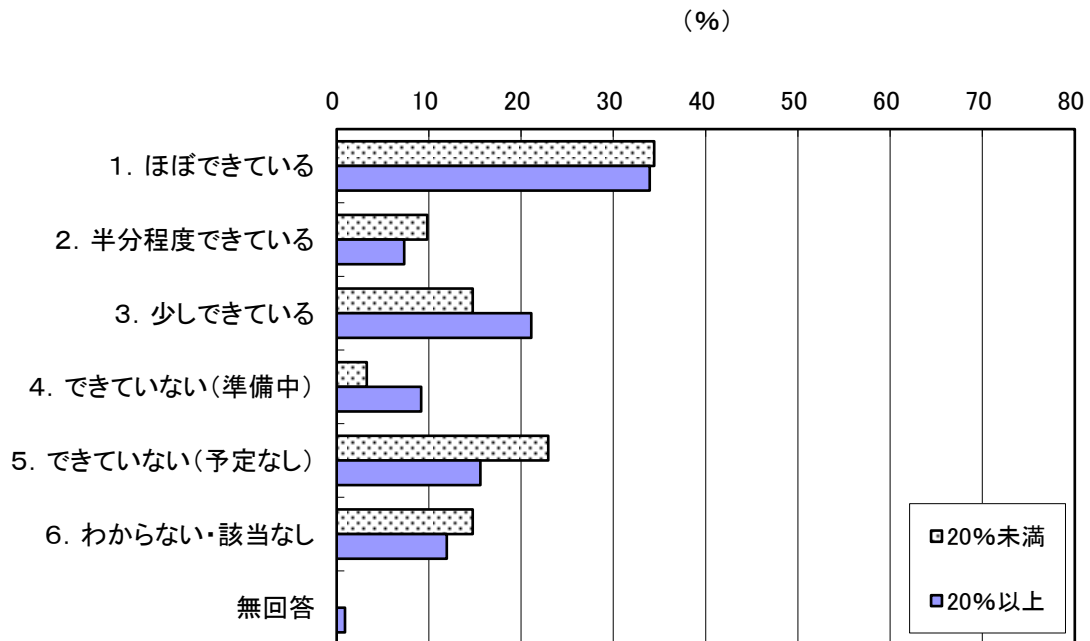
問 33 具体的な数値や色彩などで取り扱う物の重さが一目でわかるようにしている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の13%で、20%以上の事業場は14%と、差はなかった。

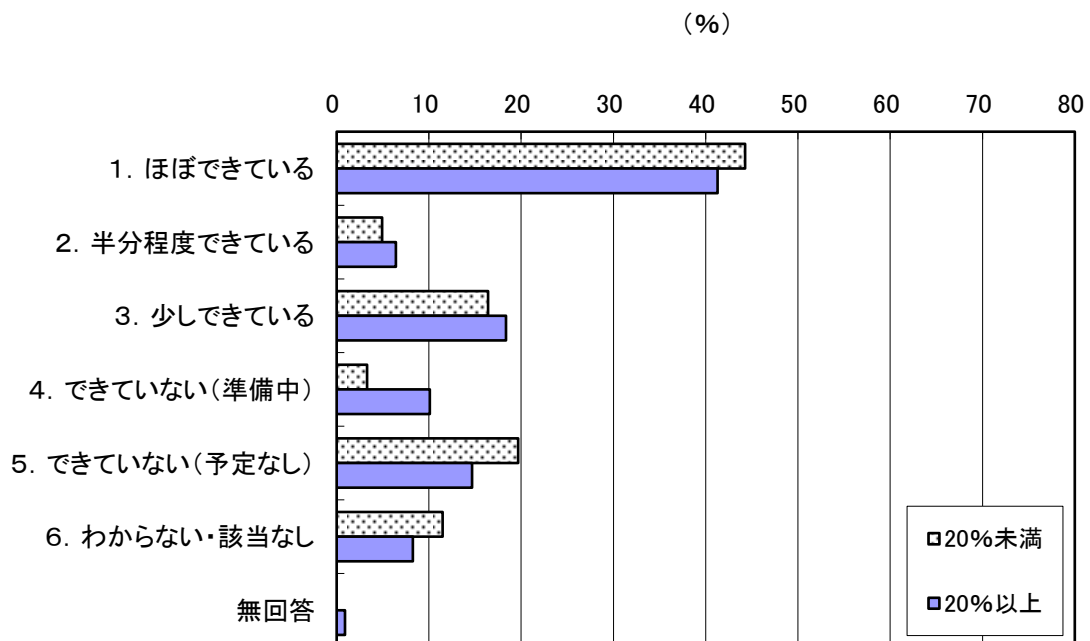


X 健康への配慮（全労働者対象）

問 34 運動、栄養、休養に関するアドバイスを受けられる環境を整備し、提供している
ほぼできている事業場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場ともに34%であった。

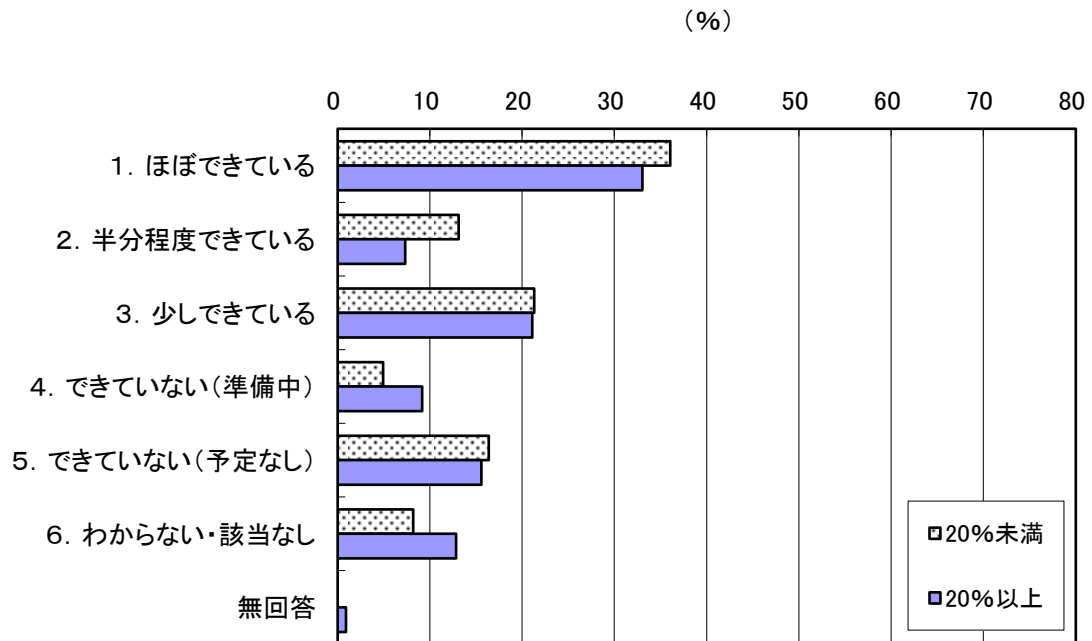


問 35 生活習慣病などに対する知識や対策について健康指導・健康教育を受けさせている
ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は44%で、20%以上の事業場は41%と、差は
なかった。



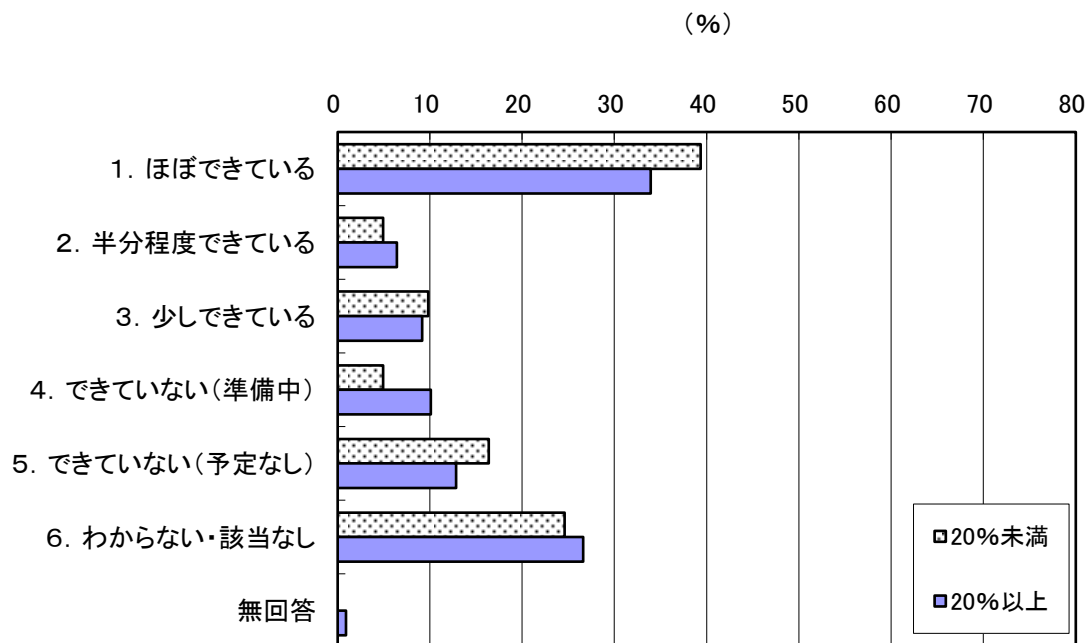
問 36 がん検診の受診を勧めるなど、がん対策を積極的に進めている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は36%で、20%以上の事業場は33%と、差はなかった。

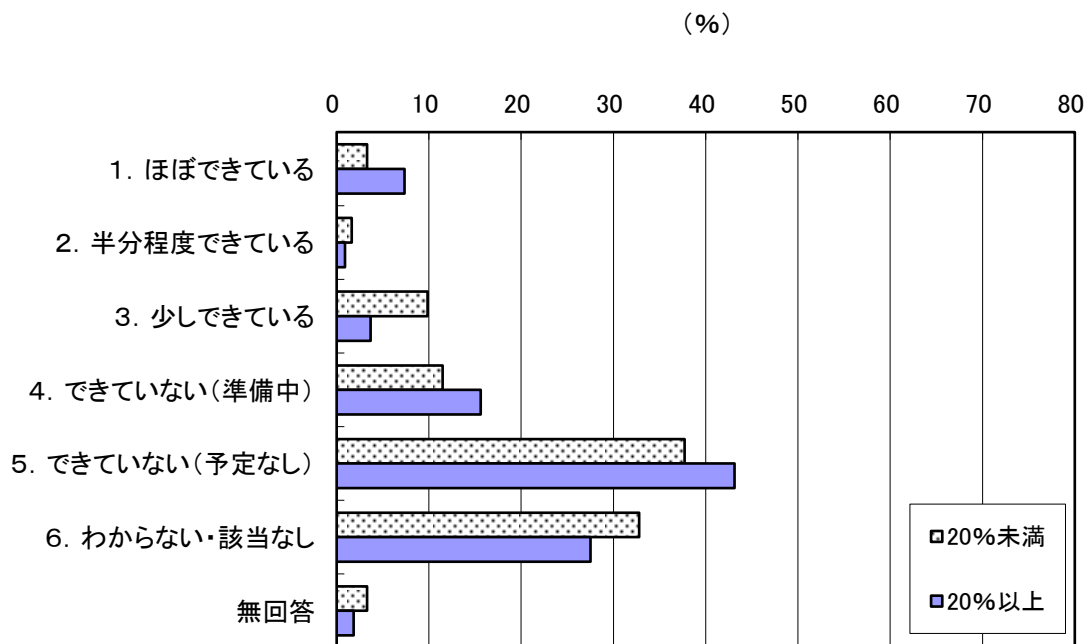


問 37 治療と仕事との両立を図りながら、安心して働けるように必要な支援や環境整備を行っている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場の39%に比べ、20%以上の事業場は34%であったが、有意な差ではなかった。

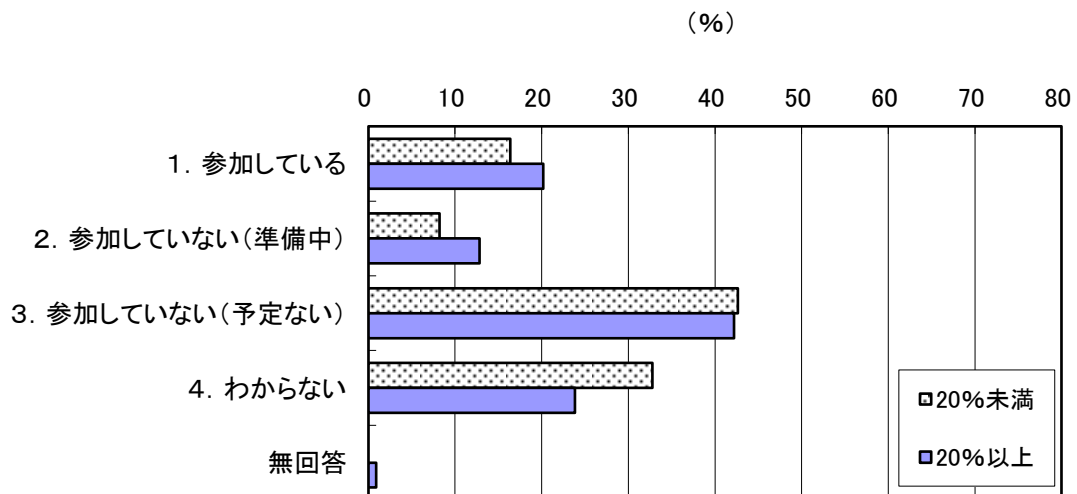


問 38 和歌山県が進めている「わかやま健康ポイント事業」に参加するように勧めている
 ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は3%で、20%以上の事業場は7%と、差はな
 かった。



問 39 和歌山県が協会けんぽ和歌山支部と進めている「わかやま健康推進事業所」に参加し
 ている

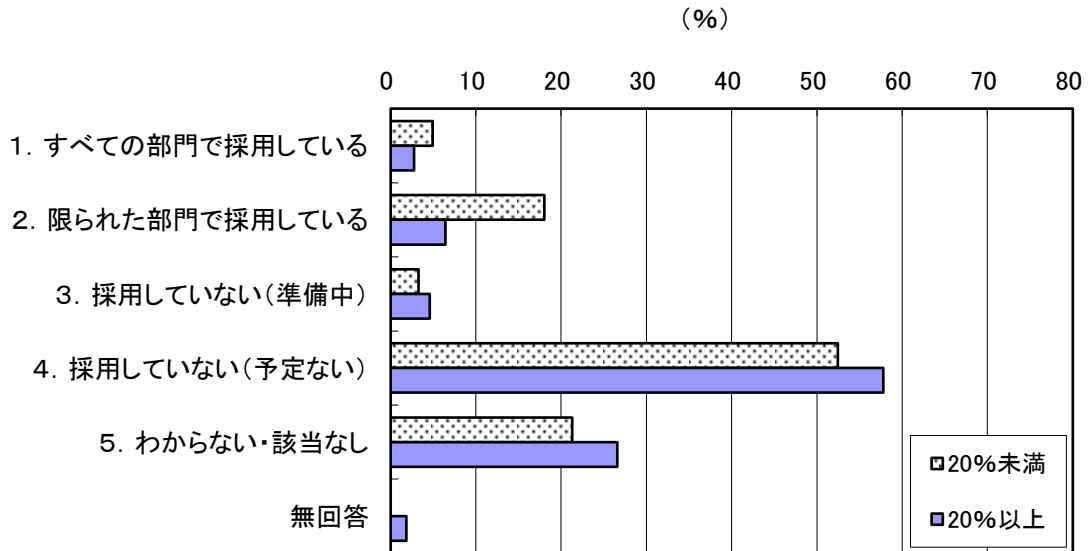
参加している事業場は、20%未満の事業場は16%で、20%以上の事業場は20%と、差はな
 かった。



XI 新型コロナウイルス感染症による在宅勤務等（全労働者対象）

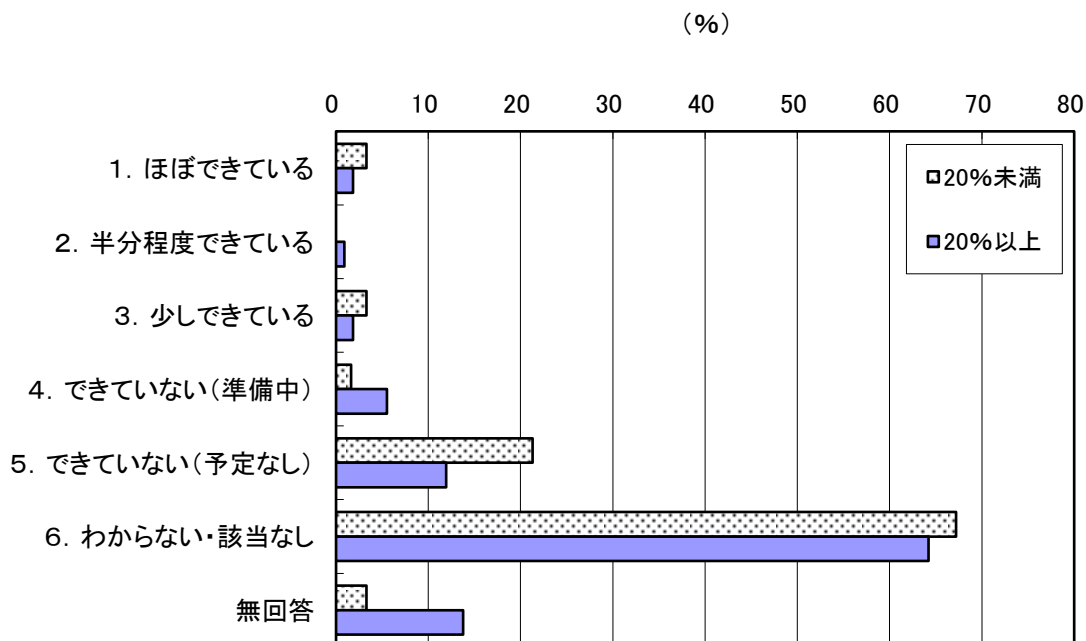
問 40 新型コロナウイルス感染症のために在宅勤務を採用している

採用している事業場は、すべての部門と限られた部門を合わせると、20%未満の事業場の23%に比べ、20%以上の事業場は9%で、有意な差であった。



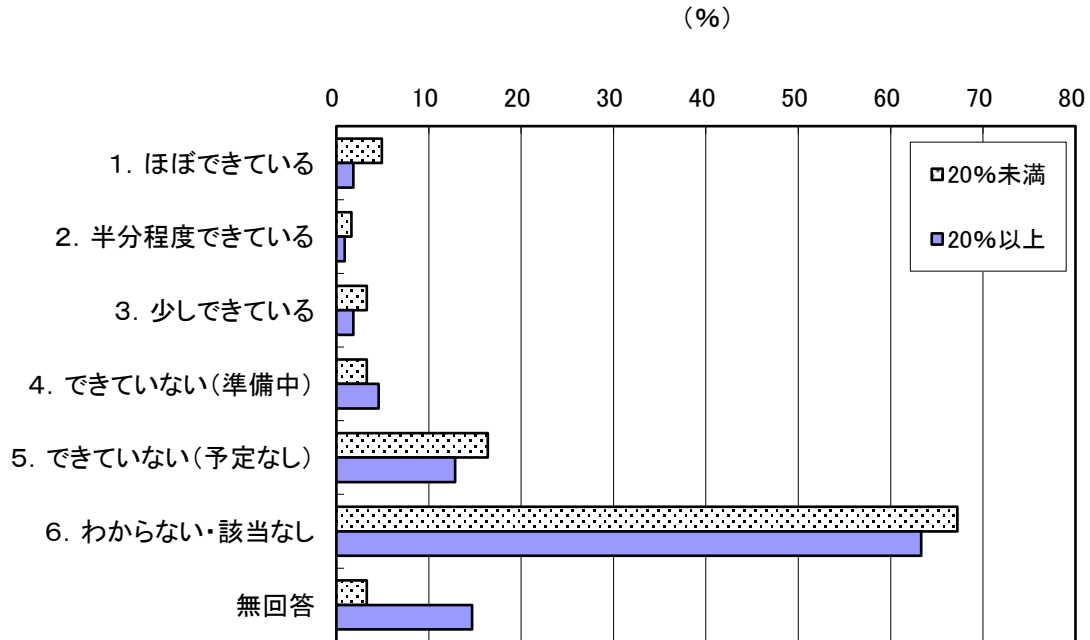
問 41 在宅勤務をしている労働者の体の健康管理（健康づくり）に、特別な配慮や措置をしている

ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は3%で、20%以上の事業場は2%と、差はなかった。



問 42 在宅勤務をしている労働者の心の健康管理（メンタルヘルス）に、特別な配慮や措置をしている

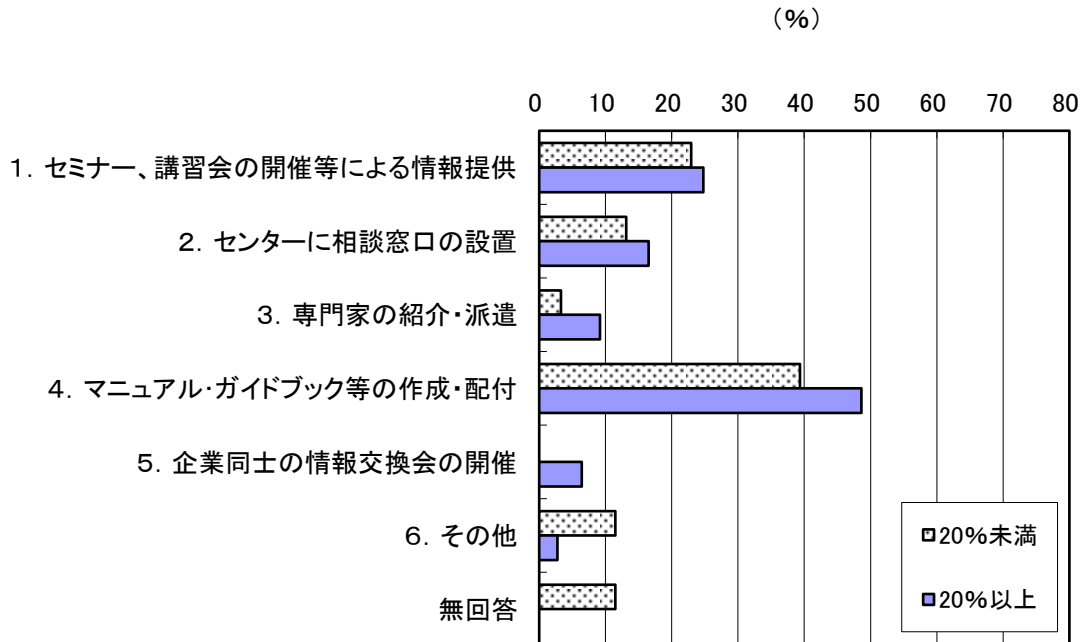
ほぼできている事業場は、20%未満の事業場は5%で、20%以上の事業場は2%と、差はなかった。



XII 和歌山産業保健総合支援センターの支援

問 43 高年齢労働者に配慮した職場改善について、産業保健総合支援センターに望むこと

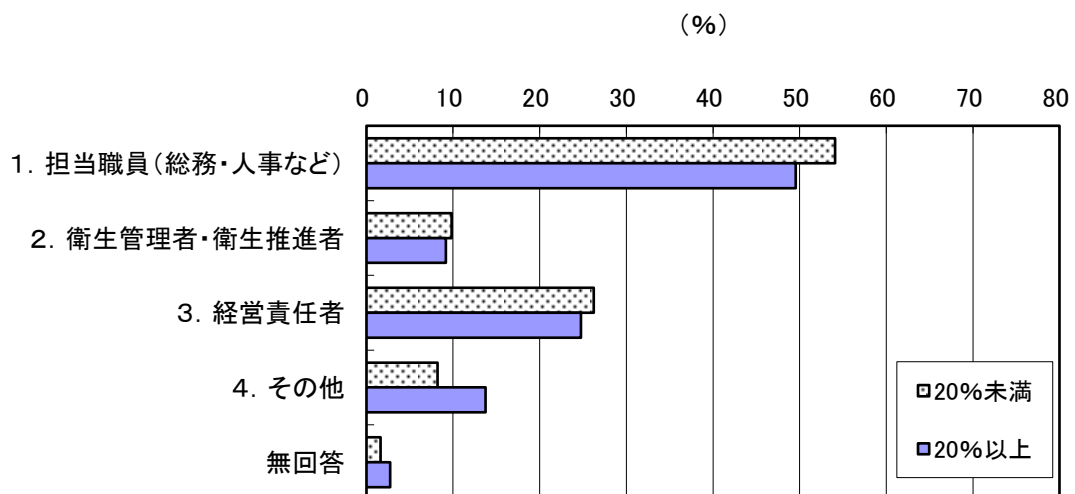
産業保健総合支援センターに望むことは、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも、マニュアル・ガイドブック等の作成・配付（39%、49%）と、セミナー、講習会の開催等による情報提供（23%、25%）が多かった。



XIII 回答者の職種

問 44 回答者の職種・立場

回答者の職種・立場は、20%未満の事業場、20%以上の事業場とも、担当職員（総務・人事など）（54%、50%）が最も多く、次いで、経営責任者（26%、25%）が多かった。



資料

「高年齢労働者に配慮した職場改善」に関するアンケート調査の依頼

令和3年9月
和歌山産業保健総合支援センター
所長 竹下達也

謹啓 初秋の候、貴社いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

和歌山産業保健総合支援センターでは、2013年に「和歌山県における高年齢労働者に配慮した職場改善に関する調査研究」をさせていただきました。多くの企業から調査票の回収にご協力をいただき、感謝しています。

さて、令和2年「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」（エイジフレンドリーガイドライン）が公表されました。定年後の再雇用が広まり、高年齢労働者が増えている昨今、高年齢労働者に配慮した職場改善がますます重要になってきています。

そこで、このアンケート調査は、和歌山県内の事業場における高年齢労働者に配慮した職場改善に対する企業の取り組み状況についてお尋ねし、和歌山産業保健総合支援センターとしての高年齢労働者だけでなく誰もが働きやすい職場づくりの支援を検討するものです。ここでは、高齢者雇用安定法の55歳以上を高年齢労働者とします。

本調査への参加は自由意思で、参加しなくても特に不利益は生じません。事業場名は書きませんし、データは統計的に処理されますので、事業場や個人のプライバシーは完全に保護されています。また、調査結果を上記の目的以外に使用したりすることはありませんので、率直なご意見やご要望をご記入くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査は、独立行政法人 労働者健康安全機構 和歌山産業保健総合支援センターの調査研究事業です。

謹白

【アンケート記入上の注意】

1. 調査票の回答は、送付した1つの事業場の現状についてご回答ください。
2. 15分程度で記入できる調査内容になっています。
3. 調査票は、令和3年10月1日現在で記入してください。
5. 回答は数字を選ぶものと、一部に該当する数字を記入する場所があります。該当する数字に○印をつけてください。（ ）内には、具体的に記入してください。
6. 「その他（ ）」に該当する場合には、（ ）内に具体的に記入してください。
7. 回答いただいた回答用紙を返信用封筒に同封して、『令和3年10月8日（金）』までにご返送ください。
8. 調査内容について不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先：調査研究実施機関】

独立行政法人 労働者健康安全機構 和歌山産業保健総合支援センター
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上2丁目1番22号 和歌山県日赤会館7階
TEL 073-421-8990 FAX 073-421-8991
メールアドレス info@wakayamas.johas.go.jp
ホームページ <https://wakayamas.johas.go.jp/>

高年齢労働者に配慮した職場改善に関する調査

労働者健康安全機構
和歌山産業保健総合支援センター

高年齢労働者に配慮した職場改善を検討する際の参考にします。
ここでは、55歳以上を高年齢労働者として、お考えください。

(記入方法)

該当する数字に○印を付け、空白欄には文字・数字をご記入ください。
把握されている状況をありのままにご記入してくださいようお願いします。
なお、記載された内容は、秘密厳守し、他に漏らすことは絶対にありません。

I 事業場について

事業場	業種	1. 製造業 2. 建設業 3. 運輸(貨物を含む)・通信業 4. サービス業 5. 卸売り小売業・飲食店 6. 金融保険業 7. 電気・ガス・水道 8. その他()
	労働者数(パートを含む)	計()人:男()人 女()人
	上記労働者のうち55歳以上の人数	計()人
管理体制	産業医	選任(1. 嘱託()人 2. 専属()人) 3. いない
	衛生管理者	1. 兼職()人 2. 専任()人 3. いない
	衛生推進者	1. 選任(衛生推進者又は安全衛生推進者)()人 2. いない
	保健師・看護師	1. 常勤()人 2. 非常勤()人 3. いない
	衛生委員会(安全衛生委員会)	1. 毎月開かれている 2. 時々開かれている 3. 必要な時に開かれている 4. 開かれていない
継続雇用制度	利用できる年齢の上限	1. 決めている()歳まで 2. 決めていない(希望すれば何歳でも継続できる) 3. 継続雇用制度がない・わからない

II 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の周知

問1	「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)について知っていますか。	1. 名前も内容も知っている 2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない 3. 名前も聞いたことがない 4. わからない
問2	自社において、高年齢労働者の安全と健康確保のために特別な配慮が必要だと思えますか。	1. 必要である 2. まあまあ必要である 3. あまり必要がない 4. 必要がない 5. わからない・高年齢労働者がいない

問 3	高年齢労働者が安心して安全に働くための職場環境の整備等に要する費用を補助する制度（エイジフレンドリー補助金）を知っていますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 名前も内容も知っている 2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない 3. 名前も聞いたことがない 4. わからない
問 4	健康診断や体力測定により把握した個々の高年齢労働者の健康や体力の状況に応じて、安全と健康の点で適合する業務に就かせていますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就かせている 2. 就かせていない（準備中） 3. 就かせていない（予定なし） 4. わからない

Ⅲ 安全衛生の総括管理

問 5	高年齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策の基本方針を表明している。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表明している 2. 表明していない（準備中） 3. 表明していない（予定なし） 4. わからない
問 6	高年齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策を推進する計画を策定している。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 策定している 2. 策定していない（準備中） 3. 策定していない（予定なし） 4. わからない
問 7	加齢に伴う身体・精神機能の低下による労働災害発生リスクに対応する観点から、高年齢労働者の安全衛生対策の検討（リスクアセスメント）を行っている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行っている 2. 行っていない（準備中） 3. 行っていない（予定なし） 4. わからない
問 8	高年齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、相談しやすい体制を整備し、必要に応じて、作業内容や作業方法の変更、作業時間の短縮等を行っている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行っている 2. 行っていない（準備中） 3. 行っていない（予定なし） 4. わからない
問 9	高年齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、発生リスクを下げするための教育や話し合い等を行っている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行っている 2. 行っていない（準備中） 3. 行っていない（予定なし） 4. わからない

Ⅳ 高年齢労働者の労働条件への配慮（対象となる作業がない場合は、「6. 該当なし」）

問 10	作業員本人が作業にかかる前に自分で計画を立てて仕事に取りかけられるように、作業標準などでどんな作業をするのか、作業員にあらかじめ具体的にわかりやすく示していますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 11	夜勤（22時から5時の勤務）をなくしているか、やむを得ず夜勤をさせる場合には夜勤形態や休日に配慮をしていますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし

問 12	フレックスタイムや在宅勤務、病院に行くなどの時間をとりやすくするための時間単位年次有給休暇などの自由度の高い就業制度を実施していますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 13	長期休業後の復職に際して、観察期間の延長や職場環境の調整などができるようにしていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし

V 作業者への配慮（全労働者対象）

問 14	年齢だけでなく、個人の特徴を把握して、作業内容や強度、作業時間などの調整を行っていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 15	作業者本人の意向、経験をふまえて、職場配置を行っていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 16	作業者本人が仕事の量や作業の進み具合等を確認できるようにしていますか。 ☆回答が 1～3 の場合、例をお書きください。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 17	作業者からのヒアリングの機会を積極的に設けていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし

VI 作業負荷軽減への配慮（全労働者対象）（対象となる作業がない場合は、「6. 該当なし」）

問 18	素早い判断や行動を要する作業がないようにしていますか。 ☆回答が 1～3 の場合、例をお書きください。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
------	--	--

問 19	作業者が自主的に作業のペースや量をコントロールできるようにしていますか。 ☆回答が 1～3 の場合、例をお書きください。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 20	強い筋力を要する作業や長時間筋力を要する作業を減らしている、あるいは、そのような作業には補助具を用いていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 21	高度の注意集中が必要な作業は、一連続作業時間が長くないようにローテーションによって作業を分担する、あるいは、作業後の休憩時間を長くしていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし

Ⅶ 作業姿勢への配慮 (全労働者対象) (対象となる作業がない場合は、「6. 該当なし」)

問 22	体の曲げ伸ばし (背伸びする、腰・ひざを曲げる、腕を挙げる) やねじれ姿勢 (体をひねる) などの不自然な姿勢となる作業を減らしていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 23	必要に応じて作業時に椅子などを用いて長時間の立位作業を減らしていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 24	必要なものは視野内の手の届く範囲にあり、体をねじることなく作業ができるようにしていますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 25	個人に合わせて選択・調整できる工具、高さ・傾きが調整できる椅子・作業台などを提供していますか。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし

VIII 作業環境への配慮（全労働者対象）（対象となる環境がない場合は、「6. 該当なし」）

問 26	作業で扱う機器・書類や作業場の掲示物、ディスプレイ（表示画面）などを見やすくするために、文字の大きさや色調、コントラストに配慮していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 27	作業場だけでなく、通路・階段なども適切な照度が確保されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 28	会話を妨げたり、異常音を聞き取りにくくしたりするような背景騒音を減らしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 29	暑熱職場・寒冷職場においては、作業中の温熱対策、保護具の着用、継続時間の低減などの対策をとっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし

IX 安全への配慮（全労働者対象）（対象となる作業がない場合は、「6. 該当なし」）

問 30	危険な場所での作業をできる限り減らすとともに、そのような機会をつくらないようにしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 31	足場・はしご・脚立等を使用する場合には、安定したものを使用させていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 32	床面の傾斜を下げる、床面の段差をなくす、床面を滑りにくくする、手すりを設ける、安全靴を使用する等の措置を講じていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし

問 33	具体的な数値や色彩などを用いて、取り扱う物の重さが一目でわかるようにしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
------	---	--

X 健康への配慮 (全労働者対象)

問 34	健康の保持・増進を行うための運動、栄養、休養に関するアドバイスを受けられる環境を整備し、その機会を提供していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 35	生活習慣病などに対する知識や対策について健康指導・健康教育を受けさせていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 36	がん検診の受診を勧めるなど、がん対策を積極的に進めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 37	治療と仕事との両立を図りながら、安心して働けるように必要な支援や環境整備を行っていますか。 ☆回答が1～3の場合、例をお書きください。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない・該当なし
問 38	和歌山県が進めている「わかやま健康ポイント事業」に参加するように勧めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない (準備中) 5. できていない (予定なし) 6. わからない
問 39	和歌山県が協会けんぽ和歌山支部と進めている「わかやま健康推進事業所」に参加していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 参加している 2. 参加していない (準備中) 3. 参加していない (予定ない) 4. わからない

XI 新型コロナウイルス感染症による在宅勤務等（全労働者対象）

問 40	新型コロナウイルス感染症のために在宅勤務を採用していますか。	1. すべての部門で採用している 2. 限られた部門で採用している 3. 採用していない（準備中） 4. 採用していない（予定ない） 5. わからない・該当なし
問 41	在宅勤務をしている労働者の体の健康管理（健康づくり）に、特別な配慮や措置をしていますか。 ☆回答が1～3の場合、例をお書きください。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし
問 42	在宅勤務をしている労働者の心の健康管理（メンタルヘルス）に、特別な配慮や措置をしていますか。 ☆回答が1～3の場合、例をお書きください。	1. ほぼできている 2. 半分程度できている 3. 少しできている 4. できていない（準備中） 5. できていない（予定なし） 6. わからない・該当なし

XII 和歌山産業保健総合支援センターの支援

問 43	高年齢労働者に配慮した職場改善について、和歌山産業保健総合支援センターに望むことは何ですか。（複数回答可）	1. セミナー、講習会の開催等による情報提供 2. センターに相談窓口の設置 3. 専門家の紹介・派遣 4. マニュアル・ガイドブック等の作成・配付 5. 企業同士の情報交換会の開催 6. その他（ ）
------	---	--

XIII 回答者の職種

問 44	回答者の職種・立場をお教えください。	1. 担当職員（総務・人事など） 2. 衛生管理者・衛生推進者 3. 経営責任者 4. その他（ ）
------	--------------------	---

ご協力ありがとうございました

同封の封筒にて、10月8日（金）までに
和歌山産業保健総合支援センターへお送りください。

「高年齢労働者に配慮した職場改善」に関するアンケート調査の回答状況(実数)

・その他の回答の()は、件数を示す。

I 事業場について

○事業場

業種	20%未満	20%以上
1. 製造業	15	21
2. 建設業	9	18
3. 運輸(貨物を含む)・通信業	8	9
4. サービス業	9	22
5. 卸売り小売業・飲食店	7	12
6. 金融保険業	1	1
7. 電気・ガス・水道	2	2
8. その他	10	22
無回答		2
総計	61	109

衛生管理者(複数回答)	20%未満	20%以上
兼職	20	37
専任	3	10
いない	39	60
無回答		2

衛生推進者	20%未満	20%以上
選任	16	41
いない	43	63
無回答	2	5
総計	61	109

・その他

20%未満	研究機関、清掃業、土木、不動産販売、林業、保育(2)、介護福祉(2)
20%以上	清掃業、協同組合、宗教法人、製販、請負、地方公共団体、廃棄物処理、林業、介護福祉(5)

保健師・看護師(複数回答)	20%未満	20%以上
常勤	6	12
非常勤	3	8
いない	55	91

○労働者数(パートを含む)

業種	20%未満	20%以上
50人未満	43	80
50人～99人	8	16
100人以上	10	13
総計	61	109

衛生委員会(安全衛生委員会)	20%未満	20%以上
1. 毎月開かれている	13	23
2. 時々開かれている	4	5
3. 必要な時に開かれている	8	20
4. 開かれていない	35	57
無回答	1	4
総計	61	109

○管理体制

産業医(複数回答)	20%未満	20%以上
嘱託	12	29
専属	1	1
いない	48	76
無回答	0	3

継続雇用	20%未満	20%以上
1. 決めている()歳まで	31	62
2. 決めていない(希望すれば何歳でも継続できる)	26	43
3. 継続雇用制度がない・わからない	3	3
無回答	1	1
総計	61	109

・決めている()歳まで

20%未満	60歳(2)、65歳(24)、70歳(5)
20%以上	60歳(2)、63歳(1)、65歳(48)、70歳(7)、72歳(2)、80歳(1)

II 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の周知

問1 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)について知っていますか。

	20%未満	20%以上
1. 名前も内容も知っている	6	11
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	19	41
3. 名前も聞いたことがない	25	37
4. わからない	10	20
無回答	1	
総計	61	109

問2 自社において、高年齢労働者の安全と健康確保のために特別な配慮が必要だと思えますか。

	20%未満	20%以上
1. 必要である	18	30
2. まあまあ必要である	21	53
3. あまり必要がない	15	21
4. 必要がない	1	4
5. わからない・高年齢労働者がいない	5	1
無回答	1	
総計	61	109

問3 高年齢労働者が安心して安全に働くための職場環境の整備等に要する費用を補助する制度(エイジフレンドリー補助金)を知っていますか。

	20%未満	20%以上
1. 名前も内容も知っている	4	8
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	12	32
3. 名前も聞いたことがない	32	51
4. わからない	13	18
総計	61	109

問4 健康診断や体力測定により把握した個々の高年齢労働者の健康や体力の状況に応じて、安全と健康の点で適合する業務に就かせていますか。

	20%未満	20%以上
1. 就かせている	37	70
2. 就かせていない(準備中)	2	5
3. 就かせていない(予定なし)	12	15
4. わからない	10	19
総計	61	109

III 安全衛生の総括管理

問5 高年齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策の基本方針を表明している。

	20%未満	20%以上
1. 表明している	4	19
2. 表明していない(準備中)	9	16
3. 表明していない(予定なし)	38	59
4. わからない	9	14
無回答	1	1
総計	61	109

問6 高年齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策を推進する計画を策定している。

	20%未満	20%以上
1. 策定している	4	11
2. 策定していない(準備中)	9	23
3. 策定していない(予定なし)	38	61
4. わからない	9	14
無回答	1	
総計	61	109

問7 加齢に伴う身体・精神機能の低下による労働災害発生リスクに対応する観点から、高年齢労働者の安全衛生対策の検討(リスクアセスメント)を行っている。

	20%未満	20%以上
1. 行っている	10	24
2. 行っていない(準備中)	9	18
3. 行っていない(予定なし)	36	55
4. わからない	5	11
無回答	1	1
総計	61	109

問8 高年齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、相談しやすい体制を整備し、必要に応じて、作業内容や作業方法の変更、作業時間の短縮等を行っている。

	20%未満	20%以上
1. 行っている	31	52
2. 行っていない(準備中)	5	12
3. 行っていない(予定なし)	19	35
4. わからない	4	10
無回答	2	
総計	61	109

問9 高年齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、発生リスクを下げるための教育や話し合い等を行っている。

	20%未満	20%以上
1. 行っている	24	52
2. 行っていない(準備中)	6	17
3. 行っていない(予定なし)	25	30
4. わからない	5	9
無回答	1	1
総計	61	109

IV 高年齢労働者の労働条件への配慮(対象となる作業がない場合は、「6.該当なし」)

問10 作業者本人が作業にかかる前に自分で計画を立てて仕事に取りかかるように、作業標準などでどんな作業をするのか、作業者にあらかじめ具体的にわかりやすく示していますか。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	26	48
2. 半分程度できている	3	12
3. 少しできている	3	9
4. できていない(準備中)	4	4
5. できていない(予定なし)	9	4
6. わからない・該当なし	15	31
無回答	1	1
総計	61	109

問11 夜勤(22時から5時の勤務)をなくしているか、やむを得ず夜勤をさせる場合には夜勤形態や休日に配慮をしていますか。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	34	64
2. 半分程度できている	1	4
3. 少しできている	2	3
4. できていない(準備中)		
5. できていない(予定なし)	6	3
6. わからない・該当なし	18	34
無回答		1
総計	61	109

問12 フレックスタイムや在宅勤務、病院に行くなどの時間をとりやすくするための時間単位年次有給休暇などの自由度の高い就業制度を実施していますか。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	35	59
2. 半分程度できている	6	6
3. 少しできている	7	11
4. できていない(準備中)	1	7
5. できていない(予定なし)	6	15
6. わからない・該当なし	6	11
総計	61	109

問 13 長期休業後の復職に際して、観察期間の延長や職場環境の調整などができるようにしていますか。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	22	52
2. 半分程度できている	6	5
3. 少しできている	7	15
4. できていない(準備中)	2	6
5. できていない(予定なし)	5	8
6. わからない・該当なし	19	22
無回答		1
総計	61	109

V 作業者への配慮(全労働者対象)

問 14 年齢だけでなく、個人の特徴を把握して、作業内容や強度、作業時間などの調整を行っていますか。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	37	62
2. 半分程度できている	5	12
3. 少しできている	8	12
4. できていない(準備中)	1	2
5. できていない(予定なし)	5	5
6. わからない・該当なし	4	16
無回答	1	
総計	61	109

問 15 作業者本人の意向、経験をふまえて、職場配置を行っていますか。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	35	70
2. 半分程度できている	6	10
3. 少しできている	9	16
4. できていない(準備中)		1
5. できていない(予定なし)	5	1
6. わからない・該当なし	5	11
無回答	1	
総計	61	109

問 16 作業者本人が仕事の量や作業の進み具合等を確認できるようにしていますか。

☆回答が1~3の場合、例をお書きください。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	24	49
2. 半分程度できている	5	8
3. 少しできている	2	3
4. できていない(準備中)	3	10
5. できていない(予定なし)	12	5
6. わからない・該当なし	13	33
無回答	2	1
総計	61	109

問 17 作業者からのヒアリングの機会を積極的に設けていますか。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	28	49
2. 半分程度できている	6	17
3. 少しできている	17	20
4. できていない(準備中)	3	3
5. できていない(予定なし)	4	7
6. わからない・該当なし	3	12
無回答		1
総計	61	109

VI 作業負荷軽減への配慮(全労働者対象) (対象となる作業がない場合は、「6.該当なし」)

問 18 素早い判断や行動を要する作業がないようにしていますか。

☆回答が1~3の場合、例をお書きください。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	15	27
2. 半分程度できている	5	7
3. 少しできている	3	6
4. できていない(準備中)	5	9
5. できていない(予定なし)	5	5
6. わからない・該当なし	28	53
無回答		2
総計	61	109

問 19 作業者が自主的に作業のペースや量をコントロールできるようにしていますか。

☆回答が 1～3 の場合、例をお書きください。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	22	35
2. 半分程度できている	1	10
3. 少しできている	6	8
4. できていない(準備中)	6	7
5. できていない(予定なし)	6	8
6. わからない・該当なし	20	40
無回答		1
総計	61	109

問 20 強い筋力を要する作業や長時間筋力を要する作業を減らしている、あるいは、そのような作業には補助具を用いていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	16	30
2. 半分程度できている	5	11
3. 少しできている	4	8
4. できていない(準備中)	1	3
5. できていない(予定なし)	6	8
6. わからない・該当なし	29	48
無回答		1
総計	61	109

問 21 高度の注意集中が必要な作業は、一連続作業時間が長くないようにローテーションによって作業を分担する、あるいは、作業後の休憩時間を長くしていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	15	31
2. 半分程度できている	3	10
3. 少しできている	7	11
4. できていない(準備中)	1	2
5. できていない(予定なし)	3	1
6. わからない・該当なし	32	53
無回答		1
総計	61	109

Ⅶ 作業姿勢への配慮(全労働者対象)(対象となる作業がない場合は、「6.該当なし」)

問 22 体の曲げ伸ばし(背伸びする、腰・ひざを曲げる、腕を挙げる)やねじれ姿勢(体をひねる)などの不自然な姿勢となる作業を減らしていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	17	23
2. 半分程度できている	3	12
3. 少しできている	4	10
4. できていない(準備中)	2	9
5. できていない(予定なし)	6	4
6. わからない・該当なし	29	49
無回答		2
総計	61	109

問 23 必要に応じて作業時に椅子などを用いて長時間の立位作業を減らしていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	23	35
2. 半分程度できている	2	9
3. 少しできている	5	13
4. できていない(準備中)	2	2
5. できていない(予定なし)	3	6
6. わからない・該当なし	26	43
無回答		1
総計	61	109

問 24 必要なものは視野内の手の届く範囲にあり、体をねじることなく作業ができるようにしていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	24	37
2. 半分程度できている	1	7
3. 少しできている	6	7
4. できていない(準備中)	2	1
5. できていない(予定なし)	3	5
6. わからない・該当なし	25	51
無回答		1
総計	61	109

問 25 個人に合わせて選択・調整できる工具、高さ・傾きが調整できる椅子・作業台などを提供していますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	26	35
2. 半分程度できている	3	7
3. 少しできている	10	8
4. できていない(準備中)		8
5. できていない(予定なし)	1	5
6. わからない・該当なし	21	43
無回答		3
総計	61	109

Ⅷ 作業環境への配慮(全労働者対象)(対象となる環境がない場合は、「6.該当なし」)

問 26 作業で扱う機器・書類や作業場の掲示物、ディスプレイ(表示画面)などを見やすくするために、文字の大きさや色調、コントラストに配慮していますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	20	38
2. 半分程度できている	7	11
3. 少しできている	7	10
4. できていない(準備中)		2
5. できていない(予定なし)	3	2
6. わからない・該当なし	24	43
無回答		3
総計	61	109

問 27 作業場だけでなく、通路・階段なども適切な照度が確保されていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	40	59
2. 半分程度できている	4	8
3. 少しできている	8	8
4. できていない(準備中)		1
5. できていない(予定なし)	1	1
6. わからない・該当なし	8	30
無回答		2
総計	61	109

問 28 会話を妨げたり、異常音を聞き取りにくくしたりするような背景騒音を減らしていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	24	35
2. 半分程度できている	2	4
3. 少しできている	7	8
4. できていない(準備中)	2	4
5. できていない(予定なし)	7	9
6. わからない・該当なし	19	47
無回答		2
総計	61	109

問 29 暑熱職場・寒冷職場においては、作業中の温熱対策、保護具の着用、継続時間の低減などの対策をとっていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	31	46
2. 半分程度できている	7	13
3. 少しできている	6	12
4. できていない(準備中)		2
5. できていない(予定なし)	1	1
6. わからない・該当なし	16	33
無回答		2
総計	61	109

Ⅸ 安全への配慮(全労働者対象)(対象となる作業がない場合は、「6.該当なし」)

問 30 危険な場所での作業をできる限り減らすとともに、そのような機会をつくらないようにしていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	22	40
2. 半分程度できている	5	11
3. 少しできている	7	6
4. できていない(準備中)		
5. できていない(予定なし)	2	3
6. わからない・該当なし	25	46
無回答		3
総計	61	109

問 31 足場・はしご・脚立等を使用する場合には、安定したものを使用させていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	32	59
2. 半分程度できている	3	6
3. 少しできている	2	3
4. できていない(準備中)		
5. できていない(予定なし)		
6. わからない・該当なし	24	39
無回答		2
総計	61	109

問 32 床面の傾斜を下げる、床面の段差をなくす、床面を滑りにくくする、手すりを設ける、安全靴を使用する等の措置を講じていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	28	45
2. 半分程度できている	6	9
3. 少しできている	4	8
4. できていない(準備中)		1
5. できていない(予定なし)	2	2
6. わからない・該当なし	21	42
無回答		2
総計	61	109

問 33 具体的な数値や色彩などを用いて、取り扱う物の重さが一目でわかるようにしていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	8	15
2. 半分程度できている	4	6
3. 少しできている	4	6
4. できていない(準備中)	1	2
5. できていない(予定なし)	11	14
6. わからない・該当なし	33	65
無回答		1
総計	61	109

X 健康への配慮(全労働者対象)

問 34 健康の保持・増進を行うための運動、栄養、休養に関するアドバイスを受けられる環境を整備し、その機会を提供していますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	21	37
2. 半分程度できている	6	8
3. 少しできている	9	23
4. できていない(準備中)	2	10
5. できていない(予定なし)	14	17
6. わからない・該当なし	9	13
無回答		1
総計	61	109

問 35 生活習慣病などに対する知識や対策について健康指導・健康教育を受けさせていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	27	45
2. 半分程度できている	3	7
3. 少しできている	10	20
4. できていない(準備中)	2	11
5. できていない(予定なし)	12	16
6. わからない・該当なし	7	9
無回答		1
総計	61	109

問 36 がん検診の受診を勧めるなど、がん対策を積極的に進めていますか。

	20% 未満	20% 以上
1. ほぼできている	22	36
2. 半分程度できている	8	8
3. 少しできている	13	23
4. できていない(準備中)	3	10
5. できていない(予定なし)	10	17
6. わからない・該当なし	5	14
無回答		1
総計	61	109

問 37 治療と仕事との両立を図りながら、安心して働けるように必要な支援や環境整備を行っていますか。

☆回答が1～3の場合、例をお書きください。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	24	37
2. 半分程度できている	3	7
3. 少しできている	6	10
4. できていない(準備中)	3	11
5. できていない(予定なし)	10	14
6. わからない・該当なし	15	29
無回答		1
総計	61	109

問 38 和歌山県が進めている「わかやま健康ポイント事業」に参加するように勧めていますか。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	2	8
2. 半分程度できている	1	1
3. 少しできている	6	4
4. できていない(準備中)	7	17
5. できていない(予定なし)	23	47
6. わからない・該当なし	20	30
無回答	2	2
総計	61	109

問 39 和歌山県が協会けんぽ和歌山支部と進めている「わかやま健康推進事業所」に参加していますか。

	20%未満	20%以上
1. 参加している	10	22
2. 参加していない(準備中)	5	14
3. 参加していない(予定なし)	26	46
4. わからない	20	26
無回答		1
総計	61	109

XI 新型コロナウイルス感染症による在宅勤務等(全労働者対象)

問 40 新型コロナウイルス感染症のために在宅勤務を採用していますか。

	20%未満	20%以上
1. すべての部門で採用している	3	3
2. 限られた部門で採用している	11	7
3. 採用していない(準備中)	2	5
4. 採用していない(予定なし)	32	63
5. わからない・該当なし	13	29
無回答		2
総計	61	109

問 41 在宅勤務をしている労働者の体の健康管理(健康づくり)に、特別な配慮や措置をしていますか。

☆回答が1～3の場合、例をお書きください。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	2	2
2. 半分程度できている		1
3. 少しできている	2	2
4. できていない(準備中)	1	6
5. できていない(予定なし)	13	13
6. わからない・該当なし	41	70
無回答	2	15
総計	61	109

問 42 在宅勤務をしている労働者の心の健康管理(メンタルヘルス)に、特別な配慮や措置をしていますか。

☆回答が1～3の場合、例をお書きください。

	20%未満	20%以上
1. ほぼできている	3	2
2. 半分程度できている	1	1
3. 少しできている	2	2
4. できていない(準備中)	2	5
5. できていない(予定なし)	10	14
6. わからない・該当なし	41	69
無回答	2	16
総計	61	109

XII 和歌山産業保健総合支援センターの支援

問 43 高年齢労働者に配慮した職場改善について、和歌山産業保健総合支援センターに望むことは何ですか。(複数回答可)

	20%未満	20%以上
1. セミナー、講習会の開催等による情報提供	14	27
2. センターに相談窓口の設置	8	18
3. 専門家の紹介・派遣	2	10
4. マニュアル・ガイドブック等の作成・配付	24	53
5. 企業同士の情報交換会の開催		7
6. その他	7	3
無回答	7	

XIII 回答者の職種

問 44 回答者の職種・立場をお教えてください。

	20%未満	20%以上
1. 担当職員(総務・人事など)	33	54
2. 衛生管理者・衛生推進者	6	10
3. 経営責任者	16	27
4. その他	5	15
無回答	1	3
総計	61	109